

ふくさき町の教育

福崎町教育委員会
事務事業点検・評価報告書
(平成29年度事業分)

平成31年1月

福崎町教育委員会

<目 次>

I	はじめに	1
II	実施方針	2
III	事務事業点検・評価表	3

学校教育課

(1)	就学前の子育て支援事業	5～25
(2)	教育委員会事業	26～32
(3)	学校関係事業	33～44
(4)	給食センター事業	91～94

社会教育課

(5)	社会教育事業	45～51、67～71
(6)	芸術・文化事業	52～56、60～64
(7)	図書館事業	57～59
(8)	文化財事業	72～85
(9)	社会体育事業	65・66、86～90、95～101
IV	学識経験者の意見	103
V	参考資料	113
	■平成29年度福崎町教育の努力目標	115
	■福崎町教育委員会事務事業評価委員要綱	120

I はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正（平成20年4月1日施行）され、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とされました。

福崎町教育委員会では、法律の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、平成29年度における教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

町民の皆様はこの報告書をご覧いただき、教育委員会の取り組みに対するご意見をお寄せいただくことで、よりよい福崎町教育の実現を目指していきたいと考えています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 実施方針

教育委員会の事務の管理・執行の状況の点検及び評価を実施するに当たり、次のとおり実施方針を定めます。

1 趣 旨

福崎町教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の管理・執行の状況（教育長及び事務局の事務執行を含む。）について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていきます。

2 実施方法

ア 点検及び評価は、学校教育課及び社会教育課が所管している事業を対象とします。

イ 点検及び評価は、毎年度1回実施するものとし、前年度の事務・事業の進捗状況をチェックするとともに、それぞれの課題や今後の取組の方向性を示すものとし、

ウ 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「外部委員」を置き、その意見を聴取します。外部委員は、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々の中から、教育委員会が委嘱し、任期は1年とします。なお、初年度はその年度末とします。また、再任は妨げないものとします。

エ 教育委員会は、事務・事業の進捗状況等を取りまとめ、有識者の意見を聴取した後、点検及び評価を行います。

オ 教育委員会において点検及び評価を行った後、その結果をとりまとめた報告書を町議会へ提出し、報告書は町民に公表するものとします。

カ 教育委員会は、点検及び評価の結果を踏まえて、次年度以降の事務・事業に取り組むものとします。

3 実施時期

前年度分の事務・事業を取りまとめた評価シートをもとに当該年度に実施します。

Ⅲ 事務事業点検・評価表

3. 民生費

平成27年度からすべての校区の幼稚園を幼保連携型認定こども園に移行し、平成29年度も引き続き就学前教育・保育の充実を図りました。

1次評価： B

(2) 児童福祉費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2. 児童福祉費	1. 児童福祉総務費	37,296,000 ^円	36,877,933 ^円	418,067 ^円

昨年度に引き続き「福崎町子ども・子育て会議」を開催し、「子ども・子育て支援事業計画」について中間見直しを行い、中間改訂版を策定しました。保育士等の処遇改善等に対応するため、子ども・子育て支援システムの改修と学童保育料の口座振替に対応するため、学童保育システムの改修を行いました。

また、子育てワンストップサービスを導入しました。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
総	◆ 取組内容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の導入 地域ぐるみでの子育てサポートの推進
		子育て世代と多世代間交流事業の推進 子育て相談業務の充実
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	②子育て家庭への支援
総	◆ 取組内容	地域全体で支える子育ての推進
		就学援助費や保育料の軽減など、経済的支援を継続

事業名/子ども子育て支援事業(学校教育課)

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総	◆ 取組内容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育啓発

◆事業内容(目的・必要性)

平成26年度に策定した「子ども・子育て支援事業計画」について、中間年にあたる平成29年度に「福崎町子ども・子育て会議」において見直し内容の検討を行いました。また、保育士等の処遇改善等に対応するため、子ども・子育て支援システムの改修と学童保育料の口座振替に対応するため、学童保育システムの改修を行いました。

住民サービスの向上のため、子育てワンストップサービスを導入しました。

◆事業の成果

平成29年度は平成26年度に策定した「子ども・子育て支援事業計画」について、子ども・子育て会議で審議し、中間改訂版を策定しました。また、子育て支援システムの改修を行い、保育士等の処遇改善及び国の段階的幼児教育無償化に対応するための準備を整えました。

学童保育システムの改修を行い、3月分から学童保育料の口座振替を開始しました。

3月から子育てワンストップサービスを開始し、パソコンやスマートフォンからの教育・保育施設の利用申請や認定変更申請が可能となりました。

■福崎町子ども・子育て会議

○委員構成 15名

- ・子どもの保護者 5名
- ・子ども・子育て支援に関する事業に従事する者 5名
- ・子ども・子育て支援に関し学識経験のある者 5名

○会議開催 2回（平成29年8月28日・平成30年1月11日）

■子ども・子育て支援システム改修

○業務の内容

子ども・子育て支援新制度システム保守業務委託	1,547,424円
児童福祉システム 社会保障・税番号制度総合運用テスト支援業務委託	110,000円
子ども・子育て支援システム保育士等処遇改善対応等業務委託	1,188,000円

○業務委託業者 (株)さくらケーシーエス

■学童保育システム改修

業務の内容

口座振替集中伝送サービス導入業務委託	540,000円
--------------------	----------

○業務委託業者 (株)さくらケーシーエス

□効果・達成度

システムの改修を行うことで、保育士等の処遇改善の施行及び国の段階的幼児教育無償化に対応するための準備が整いました。また、学童保育料の口座振替を開始し、就労等により学童保育料の窓口支払が困難であった保護者の利便が図られました。

□課題・改善

「子ども・子育て支援事業計画」の進捗については、平成32年度からの次期計画策定に向けて住民アンケート等の検討を行い、より現状に添った内容で計画を進めていく必要があります。

子育てワンストップサービスでの申請がなかったため、HPや広報を活用しサービスのPRに努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,878,000	3,711,587	300,000			3,411,587

1次評価： B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.児童福祉費	3.保育所費	9,519,000 ^円	9,089,600 ^円	429,400 ^円

福崎町に住所を有し、保護者の就労等の事情により町外の保育所を利用した児童の費用について、該当する私立保育所及び公立保育所の設置者に対して支出した費用です。

事業名／町外公立保育所委託事業、町外私立保育所委託事業

◆事業内容(目的・必要性)

施設の利用を委託した町外私立保育所及び町外公立保育所へ、委託料を支払いました。

◆事業の成果

■町外私立保育所

(単位：円)

■町外公立保育所

(単位：円)

	委託料
北条保育園	747,040
屋形保育所	2,543,030
姫路保育園	488,350
神崎保育園	1,786,780
寺前保育所	89,480
計	5,654,680

	委託料
甘地保育所	1,944,020
川辺保育所	1,490,900
計	3,434,920

□効果・達成度

町外私立保育所及び町外公立保育所委託料の支払を行い、各保育所の適正な運営と保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も私立保育所等への適正な予算執行に努めていきます。

■保育所年間延べ利用児童数

(単位：人)

施設名	定員	利用延べ児童数	利用状況				
			0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳以上児	
姫路市	豊富保育所	120	5	5	0	0	0
	高岡保育所	210	6	0	0	6	0
	姫路保育園	120	12	0	0	0	12
市川町	甘地保育所	90	28	0	12	8	8
	川辺保育所	60	1	0	1	0	0
	鶴居保育所	45	10	10	0	0	0
	屋形保育所	45	12	12	0	0	0
神河町	神崎保育園	90	14	2	12	0	0
	寺前保育所	40	1	0	0	1	0
加西市	北条保育園	130	12	0	0	12	0
合計			101	29	25	27	20

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,519,000	9,089,600	2,549,032		1,583,400	4,957,168

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.児童福祉費	4.認定こども園費	547,833,000 ^円	539,469,930 ^円	8,363,070 ^円

町内及び町外の認定こども園を利用し、就学前教育・保育を希望する児童のために要した費用です。
 主な支出は、職員21名、嘱託・臨時職員28名に係る人件費、アルバイト保育教諭賃金、私立認定こども園及び町外公立認定こども園への施設型給付費、事務費等です。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	1 保育・就学前教育	①保育事業の充実
◆	取組内容 延長保育事業や一時預かり事業 必要な保育士数の確保	食育の推進
Ⅱ 教育・文化	1 保育・就学前教育	②就学前教育の充実
◆	取組内容 質の高い保育事業展開ための研修参加 幼稚園年齢の見直し(3歳以上へH27年度達成) 学校教育への円滑な接続	保育・就学前教育の充実 食育の推進
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
◆	取組内容 保護者ニーズに合った子育て支援施策の導入 地域ぐるみでの子育てサポートの推進	子育て世代と多世代間交流事業の推進 就学援助費、保育料の軽減等、経済的支援を継続
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	②子育て家庭への支援
◆	取組内容 地域全体で支える子育ての推進	
Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
◆	取組内容 サポートファイルの活用、適切な支援継続	

事業名／認定こども園管理費

◆事業内容(目的・必要性)

入園児童が心身ともに健やかに成長できるよう、快適で安全な認定こども園の運営、管理を行いました。

教育・保育の質の向上をめざし、関係機関主催の研修会への参加や、職員の計画により研修会を実施しました。

また、施設・設備等の修繕、清掃及び害虫駆除を行い、施設の維持管理に努めました。入園申込者の増加に対応するため、田原幼児園を一部改修しました。

◆事業の成果

町内公立認定こども園研修会等において、経験豊かな講師による保育実践を中心とした指導研修を実施しました。

また、施設等の不具合部分の修繕を行いました。

■ 研修会実施内容

	実施日	内 容
幼稚園合同研修会	6月14日	公開保育事前研修（福崎幼稚園での指導・助言）
	6月21日	音楽指導研修（福崎幼稚園での唱歌・器楽指導・助言）
	7月29日	保育支援研修（高岡幼稚園での支援方法の講演）
	8月18日	音楽指導研修（高岡幼稚園での唱歌・器楽指導・助言）
	8月30日	音楽指導研修（田原幼稚園での唱歌・器楽指導・助言）
	9月2日	音楽遊び研修（八千種幼稚園での音楽遊び指導・助言）
	9月15日	音楽指導研修（八千種幼稚園での唱歌・器楽指導・助言）
	11月18日	公開保育研修（福崎幼稚園での指導・助言）

■ 園医等報酬

・内科医 836,160円 ・歯科医 646,760円 ・薬剤師 168,000円

■ 修繕関係

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	354,423
八 千 種 幼 児 園	261,240
福 崎 幼 児 園	572,674
高 岡 幼 児 園	7,560
合 計	1,195,897

■ 工事関係

・田原幼稚園園児用トイレ改修工事

請負金額：723,600円

請負業者：(有)城谷電気設備

■ 委託料関係

区 分	金 額 (円)
清 掃 委 託 料	270,000
植 木 剪 定 等 委 託 料	687,070
電 気 設 備 管 理 委 託 料	761,200
警 備 委 託 料	588,384
消 防 設 備 点 検 委 託 料	54,000
電 算 機 器 保 守 委 託 料	41,256
特 殊 建 物 等 定 期 報 告 委 託 料	270,000
合 計	2,671,910

□ 効果・達成度

保育教諭の適正な配置や施設管理をおこない、児童が安全で快適な園生活を送ることができました。

合同研修は、日頃の教育・保育を省みる機会となり教育・保育の質の向上につながりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H30)
入所・入園児童数(人)	605	594	594	635	699	700

□課題・改善

低年齢児からの入園が年々増加していることから、保育教諭の確保が課題となっています。今後も児童の安全を確保しながら健全な認定こども園運営に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
54,764,400	52,856,476	145,000		20,827,800	31,883,676

事業名／認定こども園事業費

◆事業内容(目的・必要性)

認定こども園ごとの教育・保育目標により、入園児童の健康と安全を確保しつつ創意工夫を加えながら年齢に応じた教育・保育を実施しました。

特別保育として、午後7時までの延長保育事業や、保護者の都合により緊急的・一時的に家庭で保育できない1号認定子どもの一時預かり(幼稚園型)事業及び在宅児童の一時預かり(一般型)事業を実施しました。

また、兵庫県が実施する「ひょうご保育料軽減事業」に基づき、一定の基準に該当する世帯の第2子以降の保育料を助成しました。

◆事業の成果

保護者の多様なニーズに対応するため、延長保育事業や一時預かり事業(幼稚園型・一般型)を実施しました。

多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、保育料軽減事業補助金を交付しました。

■延長保育事業利用状況(年間延べ利用者数) (単位:人)

田 原	八千種	福 崎	高 岡	姫 学	サルビア	合 計
441	11	476	20	925	189	2,062

■一時預かり事業(一般型)利用状況(年間延べ利用者数) (単位:人)

田 原	姫 学	サルビア	合 計
23	70	129	222

■一時預かり事業(幼稚園型)利用状況(年間延べ利用者数) (単位:人)

田 原	八千種	福 崎	高 岡	姫 学	サルビア	合 計
873	159	432	43	35	157	1,699

■保育材料代

園名	金額(円)
田原幼稚園	1,567,809
八千種幼稚園	761,380
福崎幼稚園	1,437,047
高岡幼稚園	236,721
合計	4,002,957

■給食費等賄費

園名	金額(円)
田原幼稚園	8,679,329
八千種幼稚園	3,435,107
福崎幼稚園	6,742,280
高岡幼稚園	1,371,016
合計	20,227,732

■備品購入状況

園名	金額(円)
田原幼稚園	1,792,722
八千種幼稚園	190,957
福崎幼稚園	963,880
高岡幼稚園	134,808
合計	3,082,367

■ひょうご保育料軽減事業

対象児童数 110人

保育料軽減事業補助金 4,251,600円

□効果・達成度

延長保育事業や一時預かり事業（一般型・幼稚園型）を実施することにより保護者のニーズに対応し、子育て支援につなげることができました。

多子世帯においては対象を第2子以降に拡充し、より多くの世帯の経済的負担の軽減を図ることができ、子どもを産み育てやすい環境づくりを推進することができました。

□めざそう値

第5次総合計画調査事項	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H30)
延長保育事業(延べ人数)	3,513	2,852	1,739	1,742	2,062	—
第5次総合計画調査事項	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H30)
一時預かり事業【一般型】(延べ人数)	1,223	822	723	283	222	—
第5次総合計画調査事項	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H30)
一時預かり事業【幼稚園型】(延べ人数)	—	—	3,685	2,225	1,699	—

□課題・改善

引き続き、延長保育事業や一時預かり事業等の子育て支援事業の周知に努め、利用者が利用しや

すい環境づくりを進める必要があります。

■認定こども園年間延べ利用児童数

(単位：人)

施設名	定員	利用延べ児童数	利用状況				
			0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳以上児	
田原幼児園	240	2,454 (68)	100 (0)	491 (26)	655 (5)	1,208 (37)	
八千種幼児園	85	879 (58)	30 (0)	167 (12)	244 (18)	438 (28)	
福崎幼児園	180	1,909 (10)	61 (4)	411 (0)	508 (0)	929 (6)	
高岡幼児園	45	281 (11)	8 (2)	57 (9)	60 (0)	156 (0)	
姫学こども園	75	882 (67)	74 (7)	282 (34)	103 (17)	423 (9)	
サルビアこども園	105	1,177 (163)	66 (20)	267 (52)	288 (38)	556 (53)	
小計	730	7,582 (377)	339 (33)	1,675 (133)	1,858 (78)	3,710 (133)	
姫路市	萩学園	310	156	0	24	12	120
	姫路日ノ本短期大学付属幼稚園	190	189	0	24	40	125
	みねあい保育園	130	24	0	0	12	12
	香呂こども園	210	6	0	3	0	3
	前之庄こども園	100	3	0	0	0	3
加西市	愛の光こども園	115	12	0	12	0	0
市川町	甘地幼稚園	35	2	0	0	0	2
多可町	あさかこども園	105	3	0	3	0	0
神戸市	神楽こども園	95	2	0	2	0	0
小計		397	0	68	64	265	
合計		7,979 (377)	339 (33)	1,743 (133)	1,922 (78)	3,975 (133)	

※ () 内は他市町からの受託児で外教

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
38,519,600	35,671,001	7,747,050		2,952,580	24,971,371

事業名／園児送迎バス運行事業

◆事業内容(目的・必要性)

送迎を希望する園児の保護者の負担軽減を図るため、マイクロバスの運行を行いました。

◆事業の成果

主な支出は、マイクロバス運転手及び添乗員に係る賃金、マイクロバスの維持管理に要した費用です。

■マイクロバス利用者数 (単位：人)

田原幼稚園	2
八千種幼稚園	4
福崎幼稚園	4
高岡幼稚園	3
姫学こども園	2
サルビアこども園	2
合計	17

□効果・達成度

ニーズのある家庭に対しよりきめ細やかに対応し、児童の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ることができました。

□課題・改善

朝夕各1便ずつで運行しており、1台で町内6園全ての保護者の希望に応じていくことが難しいのが現状です。

今後も児童の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ります。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,785,000	3,555,126			338,800	3,216,326

事業名／私立認定こども園運営事業、町外公立認定こども園委託事業

◆事業内容(目的・必要性)

私立認定こども園及び町外公立認定こども園へ施設型給付費を支払いました。

また、町内私立認定こども園の特別保育等に係る補助金交付を行い、教育・保育の充実を図りました。

◆事業の成果

■町内私立認定こども園給付費 (単位：円)

	給付費
姫学こども園	75,168,010
サルビアこども園	95,266,180
合計	170,434,190

■町内私立認定こども園補助金 (単位：円)

	姫学こども園	サルビアこども園
調理員補助	3,925,752	4,360,238
パン代補助	155,870	211,194
特別保育等補助金	3,698,740	3,396,040
特別保育料	261,200	388,000
合計	8,041,562	8,355,472

■町外私立認定こども園給付費（単位：円）

	給 付 費
萩 学 園	5,640,250
姫路日ノ本短期大学付属幼稚園	8,138,804
愛の光こども園	1,016,140
あさかこども園	217,130
みねあい保育園	797,290
神楽こども園	261,560
合 計	16,071,174

■町外公立認定こども園給付費（単位：円）

	給 付 費
前之庄こども園	176,340
香呂こども園	297,750
合 計	474,090

□効果・達成度

私立認定こども園及び町外公立認定こども園に対して施設型給付費の支払を行い、各施設の適正な運営と教育・保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も私立認定こども園等への適正な予算執行に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
206,748,000	203,376,488	132,113,282		649,200	70,614,006

1次評価： B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2. 児童福祉費	5. 子育て支援施設費	22,684,000 ^円	22,207,700 ^円	476,300 ^円

核家族化や少子化の進展、地域のつながりの希薄化等により、家族や地域の中で子育てに関する知恵や経験を共有することが難しく、子育てに関して周囲の助けを求めにくくなっています。

このような状況の中、子育て支援センターと子育て学習センターでは、子育て親子が気軽に集い、交流できる場を提供し、子育てに関する相談や情報提供を行うことにより、子育ての孤立化や負担感の軽減を図り、子どもや子育て家庭が安心して健やかに暮らせるよう支援しました。

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化		3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
総 総	◆ 取組内容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の導入	子育て相談業務の充実
		子育て世代と多世代間交流事業の推進	
Ⅱ 教育・文化		4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総	◆ 取組内容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育啓発	

□めざそう値

めざそう値・アクションプラン KPI	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H30)
子育て支援施設利用者数(人)	16,227	18,514	17,072	18,967	19,143	16,500→19,500

事業名／子育て支援センター運営事業（福崎幼稚園内）

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町の子育て支援の拠点として、子育て支援情報の収集を行い、町広報、ホームページ等による情報提供を実施しました。平成29年度から新たに保健センターでの4ヶ月健診に出向き支援施設の紹介を行いました。

また“おひさまらんど”は、子育て親子が集える場として開放すると共に、地域支援活動として地域の公民館に出かけて“すきっぷひろば”を開設し、保護者と子どもの交流促進を図りました。

◆事業の成果

■子育て支援センター事業年間延べ利用者数

おひさまらんど利用者数	すきっぷひろば参加者数	その他の事業参加者数	合計
4,946人	1,125人	832人	6,903人

■子育て相談件数 520件

■地域支援活動（すきっぷひろば）実施状況

	実施月	開催公民館等
前期	5月	福田・山崎・八千種幼稚園・田尻・高岡幼稚園
	6月	辻川・西治・西光寺・西谷・西野・大門
	7月	新町・南大貫・吉田
後期	10月	高岡幼稚園・西野・山崎・西光寺
	11月	辻川・中島・八千種幼稚園・田尻・福田・大門・西治
	12月	南大貫・吉田・新町

■その他の事業

実施月	事業内容
4月	公園で遊ぼう（2回）、わらべうた遊び
5月	たかおか・やちくさひろば すきっぷひろば（5カ所）
6月	きらきら子育て講演会 すきっぷひろば（6カ所）
7月	ミニコンサート、すきっぷひろば（3カ所）
8月	地域の方とたなばた会、大内先生とおしゃべり会 福崎幼稚園夏祭り
9月	おもちゃ作り（2回）、横山先生親子わらべうた遊び、運動会
10月	福崎幼稚園の見学会（園長先生とお話し会） すきっぷひろば（4カ所）
11月	たかおか・やちくさひろば、 すきっぷひろば（7カ所）
12月	すきっぷひろば（3カ所）、たかおか・やちくさひろば クリスマス会（3回）、
1月	伝承遊び（老人クラブ）、食育のお話しと給食試食会、 たかおか・やちくさひろば
2月	福崎幼稚園豆まきに参加、大内先生とおしゃべり会 、たかおか・やちくさひろば
3月	おもちゃ作り（2回）、たかおか・やちくさひろば

□効果・達成度

4ヶ月健診時の紹介で来所者数が増え子育て中の親子の交流が広がりました。また “すきっぷひろば” をミニデイ事業で実施したことで、地域の高齢者との世代間交流と共に、子育て世代と地域とのつながりができました。

□課題・改善

すきっぷひろばの駐車場不足問題は、徒歩による来場や、近隣住民の協力等により改善できつつあります。公民館の場所を来場者にわかりやすく周知する事をこれからの検討課題とします。今後も、子育て支援施設の拠点として、さまざまな事業を進めていきます。

予算額	決算額	財源内訳（単位:円）			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,176,000	2,013,795	1,062,200			951,595

事業名／西部子育て学習センター運営事業（文化センター内）

◆事業内容(目的・必要性)

西部子育て学習センター“ともだちひろば”を子育て親子の集いの場として提供しました。

「子育て学習講座」では、乳幼児期の子育てについての学習・実習等を開催しました。また、各子育てグループ自らが企画・立案し実施する活動に寄り添い、ともに考え、育ちあうなかまづくりの育成支援を行いました。その他、“あそびのひろば”として絵本の読み聞かせやリズム遊びなど、様々な交流の場を提供しました。

◆事業の成果

■西部子育て学習センター事業年間延べ利用者数

ともだちひろば利用者数	子育てグループ活動参加者数	子育て学習講座参加者数	その他の事業参加者数	合計
5,154人	2,064人	484人	684人	8,386人

■子育て相談件数 55件

■子育てグループ

- ・4グループ70組150人の親子が参加
- ・グループごとに年間15回活動を実施
- ・全体行事として、はじめましての会、ふれあい運動会、クリスマス会、おわかれ遠足等を実施
- ・養護老人ホームとなぐさの郷で高齢者との交流会を3回実施

■子育て学習講座

実施月	テーマ
5月	親子で口腔ケア
7月	子どもの食について考えてみましょう
8月	人形劇
10月	「いざ！という時の救急法」車両見学
12月	わくわく親子あそび
2月	絵本の読み聞かせに生演奏

■あそびのひろば

事業名	内容	実施日
ドレミ	リズムあそび・うたあそびなど	第2木曜日 年10回
ぐりとぐら	絵本の読み聞かせ、わらべうたなど	第1木曜日 年10回
おしゃべりティータイム	机を囲み子育てについて話し合う（地産地消の手作りおやつを提供をする）	4・8・10・1月

□効果・達成度

70組の子育て親子が年間15回の活動に参加され、子育て中の親子の出会いの場、悩みを共有する場として子育てを応援できました。

□課題・改善

今後も子育て中の親子の安心して過ごすことが出来る身近な施設として事業を実施し、学びの場・安らぎの場・心のよりどころとなるよう、また町内子育て支援施設との連携強化に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,767,000	2,541,974	1,274,640			1,267,334

事業名／東部子育て学習センター運営事業（田原幼稚園内）

◆事業内容(目的・必要性)

東部子育て学習センター“にこにこひろば”を子育て親子の集いの場として提供し、子育て講演会や、親子遊びなどを通して、子育てについての知識や情報を提供したり、子どもとのふれあいを楽しんだりするような機会を作りました。母子参加の事業だけでなく、多世代交流、家族参加の事業も実施し、父親や祖父母も参加しやすいようにしました。また、29年度から製作あそびを、毎月とり入れています。

◆事業の成果

■東部子育て学習センター事業年間延べ利用者数

にこにこひろば 利用者数	製作あそび 参加者数	その他の事業 参加者数	合 計
4,181人	289人	509人	4,979人

■子育て相談件数 75件

■製作あそび

実施月	テ ー マ
毎月1回	にこにこひろばで作ってあそぼう
8月	家族で楽しむ川遊び（水あそび用）
11月	秋を飾ろう（木の実を使って）
2月	成長の記録ノート作り

■その他の事業

実施月	テ ー マ
4月	親子で楽しむミュージカル
5月	子育て講演会（予防接種のお話し）
6月	親子体育あそび（父親対象）
7月	子育て講演会（イヤイヤ期の話）
9月	おじいちゃんおばあちゃんと遊ぼう
10月	いもほり、幼稚園見学会
12月	クリスマス会
1月	身体をいっぱい使ってあそぼう
3月	みんなでおさんぽ

□効果・達成度

各月の実施事業に多数の親子の参加があり、ひろば利用者数も増加しました。また、家族参加の事業を通して、母親だけでなく父親や祖父母についても多くの参加がありました。

□課題・改善

今後も「学びの場」、「安らぎの場」、「子育て中の親子の心のよりどころ」として、身近な施設となるよう努力します。また、家族とのふれあいを大切し、父親の積極的な子育て参加を促して

いきます。そして「子どもの育ち」を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,994,000	1,961,332	955,980			1,005,352

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.児童福祉費	6.学童保育費	16,420,000 ^円	15,591,659 ^円	828,341 ^円

共働き家庭や母子・父子家庭など、学校から帰宅してもだれもいない留守家庭の小学生の保護・健全育成を図ることを目的に、学校や地域の協力のもと、福崎小学校の余裕教室を利用した「福崎西部学童保育園」と田原小学校体育館北の「福崎東部学童保育園」において学童保育を行いました。年齢の異なった子どもたちが家庭的な雰囲気の中で、宿題をした後、自主活動を通じて仲良く協力しながら放課後を過ごしました。土曜日は「福崎東部学童保育園」において、センター方式により学童保育を実施しました。

また、平成28年度から開園時間を午後7時までに1時間延長し、保育内容を充実させています。

放課後子ども教室では、地域の大人や異年齢の子どもとの交流、また昔あそびを行うなど、子どもの居場所づくりに努めました。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施策	町の取り組み
II 教育・文化	3 子育て支援(2 効率的で効果的な行政運営)	①子どもの健やかな成長支援(②行政サービスの向上)
総 計	◆ 取組内容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の導入 学童保育の利用学年の拡充(小3→小6まで〜H27年度〜)
	◆ 取組内容	放課後子ども教室の充実 学童保育利用時間延長(H28年度から午後7時までに、1時間延長)

□めざそう値

(単位：人)

総合戦略アクションプランK P I	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H31)
学童保育利用者数	—	183	216	235	286	230→250

事業名／福崎西部学童保育園運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

福崎小学校及び高岡小学校の留守家庭の児童が、福崎小学校北校舎の余裕教室で宿題及び自主活動などを主として行い、放課後を過ごしました。

土曜日の利用を希望する児童については、センター方式により福崎東部学童保育園で保育を実施しました。

利用人数の増加に伴い荷物用棚の追加や夏場の暑さ対策として扇風機の購入等により教室の環境改善に努めました。

指導員においては、実務研修や放課後児童支援員認定資格研修等への参加により資質向上に努めました。

◆事業の成果

福崎西部学童保育園の運営(月曜日から金曜日)に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る賃金です。

■学童保育園利用状況（実利用人数） ※（ ）内は内数（単位：人）

	福崎小学校	高岡小学校	計
4月	87	7	94
5月	71	4	75
6月	64	4	68
7月 (夏休み)	97 (14)	4 (0)	101 (14)
8月 (夏休み)	105 (21)	5 (1)	110 (22)
9月	76	3	79
10月	69	3	72
11月	70	3	73
12月	74	5	79
1月	65	3	68
2月	65	3	68
3月 (春休み)	75 (4)	4 (1)	79 (5)
計 (長期休業)	918 (39)	48 (2)	966 (41)

□効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

開園時間の延長等に伴い利用人数が増加しているため、新たな実施場所の確保について検討が必要です。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7,852,000	7,166,062	2,284,000		4,068,000	814,062

事業名／福崎東部学童保育園運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

田原小学校及び八千種小学校の留守家庭の児童が、田原小学校北の福崎東部学童保育園において宿題及び自主活動などを行い、放課後を過ごしました。土曜日はセンター方式により町内4小学校の児童を対象に学童保育を実施しました。

夏場の暑さ対策として扇風機の購入や、園庭の高木の剪定及び遊具の修繕等により環境改善に努めました。

指導員においては、実務研修や放課後児童支援員認定資格研修等への参加により資質向上に努めました。

◆事業の成果

福崎東部学童保育園の運営（月曜日から土曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導

員に係る賃金です。

■学童保育園利用状況（実利用人数）

※（ ）内は内数（単位：人）

	田原小学校	八千種小学校	計
4月	99	2	101
5月	92	2	94
6月	93	3	96
7月 (夏休み)	118 (13)	10 (6)	128 (19)
8月 (夏休み)	112 (20)	11 (7)	123 (27)
9月	85	4	89
10月	84	3	87
11月	81	3	84
12月	87	5	92
1月	81	3	84
2月	74	2	76
3月 (春休み)	86 (6)	5 (3)	91 (9)
計 (長期休業)	1,092 (39)	53 (16)	1,145 (55)

□効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

開園時間の延長に伴い利用人数が増加しているため、新たな実施場所の確保について検討が必要です。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,192,000	8,067,610	1,903,000		4,884,000	1,280,610

事業名／田原放課後子ども教室事業

◆事業内容(目的・必要性)

田原小学校の1年生及び2年生を対象に、田原小学校の教室において5月～3月の毎週月曜日（学校が休みの日などを除く）に開催し、宿題や絵本の読み聞かせなどの活動をしながら、他の学年の児童の下校時間と合わせることによって、帰宅時の安全を確保することで地域における子育て支援に努めました。

◆事業の成果

主な支出は、指導員の賃金です。

■利用状況（実利用人数）

（単位：人）

	1年生	2年生	計
4月	—	—	—
5月	40	20	60
6月	39	21	60
7月	39	21	60
8月	—	—	—
9月	38	16	54
10月	38	20	58
11月	38	19	57
12月	38	18	56
1月	38	18	56
2月	38	19	57
3月	38	20	58
計	384	192	576

□効果・達成度

他の学年の児童の下校時間に合わせて帰宅することで低学年の児童の帰宅途中の安全確保に努めることができたほか、指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子育て支援につながりました。また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場をもつことができました。

□課題・改善

約1時間という限られた時間の中で、宿題を済ませた児童の残り時間の過ごし方について、昔遊びを増やしたり、指導員以外の地域の方との交流を増やしていくなど、さらに工夫していくことが必要です。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
236,000	232,089	105,000			127,089

事業名／八千種放課後子ども教室事業

◆事業内容(目的・必要性)

八千種小学校の1年生を対象に、八千種県民交流広場において5月～3月の毎週火曜日（学校が休みの日などを除く）に開催し、宿題や絵本の読み聞かせなどの活動をしながら、他の学年の児童の下校時間と合わせることによって、帰宅時の安全を確保することで地域における子育て支援に努めました。

◆事業の成果

主な支出は、指導員の賃金です。

■利用状況（実利用人数）（単位：人）

	1年生
4月	—
5月	21
6月	21
7月	20
8月	—
9月	20
10月	20
11月	20
12月	21
1月	20
2月	21
3月	21
計	205

□効果・達成度

他の学年の児童の下校時間に合わせて帰宅することで低学年の児童の帰宅途中の安全確保に努めることができたほか、指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子育て支援につながりました。

また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場をもつことができました。

□課題・改善

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
140,000	125,898	87,000			38,898

約1時間という限られた時間の中で、宿題を済ませた児童の残り時間の過ごし方について、昔遊びを増やしたり、指導員以外の地域の方との交流を増やしていくなど、さらに工夫していくことが必要です。

9. 教育費

教育費は、教育総務費、小学校費、中学校費、社会教育費、保健体育費に要した経費です。

本町では、教育の基本方針及び長期目標である「大地に根を張り、幹を太らせ、枝を広げ、大きく伸び行く福崎の教育」を基調に、町民すべてがかかわる福崎町の教育をめざして、知育・徳育・体育・食育の4育を基盤とし、夢に挑戦する子どもたちの「生きる力」をはぐくむ教育に取り組んできました。子どもたち一人ひとりの持つよさや可能性を伸ばし、自らの個性がより発揮できるように、倫理観、社会性、創造性、国際性を養う教育を推進しました。また、社会生活上のルールの大切さや自己責任の自覚、他者を思いやる心の涵養、ふるさとや伝統文化を大切に思う気持ちを育むこと等、「心の教育」の充実に努めました。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総◆	取組内容	道徳教育の充実、ふるさと学習の継続
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総◆	取組内容	文化資源の学校教育への利活用(ふるさと意識-豊かな人間性)
Ⅱ 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総◆	取組内容	人権教育を推進、人権意識の高揚 地域交流や郷土愛育成
Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
総◆	取組内容	サポートファイルの活用、適切な支援継続

1次評価： A

(1) 教育総務費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
1.教育総務費	1.教育委員会費	1,286,000 ^円	1,144,031 ^円	141,969 ^円

地方教育行政全般の運営推進に要した経費です。教育委員会の会議は、定例会11回、臨時会2回を開催し、教育上の諸問題について審議しました。また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により平成27年度から設けられた総合教育会議においては、首長と教育委員会が、相互の連携を図りつつ、より一層民意を反映した教育行政を推進していくため、平成29年度は2回開催しました。

主な支出は、委員4人にかかる報酬、教育長交際費です。

事業名/教育委員会事業

◆事業内容(目的・必要性)

教育委員会において、幅広い分野の多様な地域住民の要望に的確に対応し、きめ細やかな教育行政が主体的かつ積極的に展望できるよう、体制の確立に努めました。

◆事業の成果

概ね月に1回教育委員会を開催し、教育情勢をより早く察知し検討しました。

研修に積極的に参加し、情報収集に努め、教育委員としてより高度な人格形成を目指しました。

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□効果・達成度

さらなる自己研さん及び的確な情報収集に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,286,000	1,144,031				1,144,031

項	目	予算現額	支出済額	不用額
1. 教育総務費	2. 事務局費	74,447,000 ^円	74,082,617 ^円	364,383 ^円

教育長、職員3人・嘱託2人に係る人件費、英語指導助手の賃金、旅費及びこころを開きあう親の会講師謝礼金、日本スポーツ振興センター負担金及び各種大会等参加費補助金等が主な支出です。

事業名／事務局一般事務費

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み	
II 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備	
総 総	◆ 取 組 内 容	大規模改修計画の策定、教育施設の改修	安全で安心して学べる環境づくり
		学校教育指導員などの指導体制を維持・発展	いじめなどの問題に対して適切な対応
		学力向上への取り組み	
IV 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実	
総	◆ 取 組 内 容	障がいに対する研修会の充実	専門知識を持つ教職員の配置

◆事業内容(目的・必要性)

教育行政の円滑な運営を図りました。

◆事業の成果

不登校指導員等の配置により、児童生徒の問題解決に早期対応しました。

教育支援委員会を開催し、支援を要する児童生徒の実態把握及び特別支援学級の入級判定を行いました。

また、学力向上委員会を設置し、方策を検討する等、学力向上に取り組みました。

学校施設においては、現在老朽化が進んでいる状況を整理し、中長期的な更新・維持管理等に係るトータルコストの縮減や財政負担の平準化を図り、効率的かつ効果的な施設整備を進めるための長寿命化計画策定に向けて、学校施設の現況を把握するための調査を行いました。

■委託料の内訳

事業名	箇所	内容	金額(円)	受託者
学校施設等長寿命化計画策定に伴う調査業務委託	小学校 4校 中学校 2校	学校施設の老朽化状況調査、健全度算定	5,292,000	(株)オオバ 神戸営業所

□効果・達成度

不登校児童生徒に対するきめ細かな対応ができました。特別支援学級への適正な入級判定ができました。

また、学校施設等長寿命化計画策定のために必要となる現時点での各学校施設における老朽化及び健全度状況を把握することができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H30)
大規模改修実施学校数	0	0	0	0	0	3

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

平成29年度は、小中学校施設の老朽化に対応していくため長寿命化計画策定に向けた現況調査を実施しました。これをもとに、平成30年度は長寿命化計画の策定を進めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
15,154,000	15,106,347				15,106,347

事業名／学校保健安全事業

◆事業内容(目的・必要性)

学校保健安全法に基づき、児童・生徒及び教職員の健康管理に万全を期しました。

◆事業の成果

健康は教育の基本であるという理念のもと、児童・生徒及び教職員の健康保持・増進を図り、円滑な教育活動を展開するため、各種検診を実施しました。

■教職員検診費

(単位:円)

学校名 検診名	福 崎 小		高 岡 小		田 原 小		八 千 種 小		西 中		東 中		計
	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	
胃部レントゲン	6	22,068	1	3,678	4	14,712	1	3,678	4	14,712	9	33,102	91,950
心 電 図	19	24,624	7	9,072	21	27,216	6	7,776	12	15,552	17	22,032	106,272
血 液	19	46,113	7	16,989	21	50,967	6	14,562	12	29,124	17	41,259	199,014
H b A 1 c	19	8,208	7	3,024	21	9,072	6	2,592	12	5,184	17	7,344	35,424
胸部撮影	18	25,272	7	9,828	20	28,080	6	8,424	12	16,848	16	22,464	110,916
眼 底	23	27,324	7	8,316	24	28,512	9	10,692	13	15,444	17	20,196	110,484
尿 検 査	19	2,052	7	756	21	2,268	6	648	11	1,188	17	1,836	8,748
別途実施尿検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診 察	19	12,312	7	4,536	21	13,608	6	3,888	12	7,776	17	11,016	53,136
聴 力	19	2,052	7	756	21	2,268	6	648	12	1,296	17	1,836	8,856
大腸がん	14	14,364	6	6,156	18	18,468	5	5,130	12	12,312	16	16,416	72,846
P S A	2	3,456	0	0	3	5,184	1	1,728	2	3,456	6	10,368	24,192
腹 囲	6	1,620	2	540	7	1,890	1	270	4	1,080	10	2,700	8,100
協会健保一般健診	4	17,913	0	0	3	13,296	3	13,132	1	4,773	0	0	49,114
追加血液検査	4	3,024	0	0	3	2,268	3	2,268	1	756	0	0	8,316
市川町受診分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	210,402		63,651		217,809		75,436		129,501		190,569		887,368

■児童・生徒検診費

	福 崎 小		高 岡 小		田 原 小		八 千 種 小		西 中		東 中		小 計
	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	
心臓検査	86	145,340	12	20,280	82	138,580	24	40,560	84	141,960	114	192,660	679,380
尿 検 査	415	40,338	67	6,512	473	45,975	149	14,483	239	23,231	331	32,173	162,712
胸部レントゲン	0	0	0	0	0	0	0	0					0
計		185,678		26,792		184,555		55,043		165,191		224,833	842,092

■ストレスチェック委託料 16,491円

(公立学校共済組合員135人(1人90円(税抜))、左記以外の者26人(1人120円(税抜)))

ストレスチェックは、一次予防(メンタルヘルス不調の未然防止)を主な目的とし、教職員自身のストレスへの気づきを促すことにより、職場環境の改善につなげるためのものです。平成27年12月から施行された改正労働安全衛生法に基づき、教職員の心の健康のため、平成28年度から導入しました。

□効果・達成度

各検診を受診する機会を確保し、児童・生徒及び教職員の積極的な健康保持・増進を図ることができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,125,000	1,959,313				1,959,313

事業名/学校関係事業

◆事業内容(目的・必要性)

日本スポーツ振興センター負担金、各種大会等参加費補助金及び生活困窮者等の就学奨励扶助に係る事業です。

◆事業の成果

■各種大会等参加費

(単位:円)

学校名	大会名	派遣費用	各学校費用合計
福崎小	第65回兵庫リレーカーニバル	2,080	14,760
	第33回全国小学生陸上競技交流大会兵庫県予選	7,180	
	第41回兵庫県小学生陸上競技大会	5,500	
田原小	第65回兵庫リレーカーニバル	22,850	61,890
	第33回全国小学生陸上競技交流大会兵庫県予選	20,120	
	第41回兵庫県小学生陸上競技大会	18,920	
八千種小	第65回兵庫リレーカーニバル	4,080	4,810
	第41回兵庫県小学生陸上競技大会	730	

福崎西中	中播地区中学校総合体育大会	348,900	1,104,370
	神崎郡中学校総合体育大会	64,800	
	兵庫県合唱コンクール	127,350	
	神崎郡中学校親善大会	97,200	
	中播地区中学校新人大会	273,640	
	神崎郡中学校連合音楽会	57,240	
	中播地区総合体育大会駅伝競走大会	40,000	
	兵庫県中学校陸上競技記録会	95,240	
福崎東中	神崎郡中学校総合体育大会	129,600	869,605
	中播地区中学校総合体育大会	289,132	
	兵庫県中学校総合体育大会	18,840	
	近畿中学校総合体育大会京都大会	31,240	
	全国中学校水泳競技大会	70,220	
	神崎郡中学校親善大会	97,200	
	中播地区中学校新人大会	118,550	
	神崎郡中学校連合音楽会	54,000	
	中播新人剣道大会	500	
	第28回兵庫県中学校ソフトボール新人大会	58,080	
	神崎郡中学校総合体育大会	2,243	
計			2,055,435

□効果・達成度

児童及び生徒の活発な体育活動等を支援することができました。

□課題・改善

体育活動のみならず、文化活動についても積極的な活動を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,914,000	2,880,630				2,880,630

事業名／国際教育推進事業

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>	施 策		町の取り組み
I 地域づくり・行政	3 国際化		①国際理解の推進
◆ 取 組 内 容	国際教育・交流及び語学教育の推進(学校教育)		未来の国際化を担う人材の育成
	「イングリッシュフェスティバル」の開催		国際交流に関する情報の提供

◆事業内容(目的・必要性)

外国語指導助手(ALT)2人体制のもと、国際理解教育を展開しました。また、帰国・外国人児童に対する学習支援員による学習サポートを行いました。ALTや帰国・外国人児童支援員の賃金、旅費等に係る事業です。

◆事業の成果

ALTを2人配置し、小中学校の英語教育・国際教育をより充実させ、地域の国際化にも有効に活用しました。また、帰国・外国人児童支援員により帰国児童に対して学習のサポートを行いました。

□効果・達成度

生きた英語にふれることで児童及び生徒の英語に対する興味・関心が高まり、充実した国際教育が展開できました。

□めざそう値

総合戦略アクションプランK P I	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H31)
外国語指導助手 (ALT) 人数	—	2	2	2	2	2

□課題・改善

A L T等の指導能力をさらに高め、より一層国際教育の充実に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,675,000	10,592,037				10,592,037

(2) 小学校費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2. 小学校費	1. 学校管理費	94,029,000 ^円	86,146,563 ^円	7,882,437 ^円

小学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、嘱託4人に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、土地借上料、備品購入費、負担金等です。

事業名／小学校管理事業・小学校校外事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	3 国際化	①国際理解の推進
総◆取組内容	国際教育・交流及び語学教育の推進(学校教育)	道徳教育の充実、ふるさと学習の継続

◆事業内容(目的・必要性)

学校教育法に定める目的及び目標達成のための教育を推進しました。

◆事業の成果

目的を達成するため、合理的な運営を行いました。

教育施設の維持管理、教材備品の整備充実及び教育活動の充実向上を図りました。

■学校別児童・教員数調べ

H29. 5. 1 現在 (単位:人)

学校	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	教員	事務職・ 栄養教諭等
福崎小		86	61	80	77	53	58	415	30	2
高岡小		12	12	8	12	14	9	67	11	3
田原小		82	80	77	78	77	80	474	30	3
八千種小		24	27	20	15	30	33	149	12	2
計		204	180	185	182	174	180	1,105	83	10
28年度		179	187	182	175	183	206	1,112	79	10

■小学校別児童数の推移

学校名	H20	H25	H26	H27	H28	H29
福崎小学校	379	387	396	418	412	415
高岡小学校	84	75	74	69	67	67
田原小学校	511	490	482	489	483	474
八千種小学校	199	188	167	159	150	149
小計	1,173	1,140	1,119	1,135	1,112	1,105

■校医等の報酬

内科医(4人)	2,142,680円	定期健康診断、就学前健康診断、マラソン前健康診断他
歯科医(4人)	1,421,300円	
眼科医(1人)	722,650円	
耳鼻科医(2人)	721,300円	
薬剤師(3人)	340,900円	教室の空気環境検査、プール等の衛生検査、食器洗浄検査

■施設修繕料

(単位：円)

福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	計
991,922	145,152	656,959	94,770	1,888,803

■委託料関係

(単位：円)

区分	校名	福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	計
ガス設備点検委託料		23,895	23,895	23,895	23,895	95,580
植木剪定委託料		28,720	20,520	25,920	0	75,160
リソグラフ保守管理委託料		110,496	0	44,580	35,640	190,716
清掃委託料		120,000	120,000	0	0	240,000
警備委託料		294,192	294,192	294,192	294,192	1,176,768
電気設備管理委託料		129,600	98,400	129,600	172,800	530,400
貯水槽管理委託料		52,920	71,280	93,960	73,440	291,600
給食用昇降機点検委託料		0	35,640	35,640	35,640	106,920
消防設備点検委託料		21,006	21,006	21,006	21,006	84,024
プール循環装置点検委託料		24,840	24,840	24,840	24,840	99,360
エレベーター点検委託料		570,240	0	0	0	570,240
教育用コンピュータ保守管理委託料		175,770	175,770	175,770	175,770	703,080
英語活動推進事業委託料		233,500	79,000	302,500	101,000	716,000
小学校体験活動事業委託料		1,202,000	594,000	1,202,000	594,000	3,592,000
電算機器保守管理委託料		972	972	972	972	3,888
害虫駆除委託料		0	0	0	70,200	70,200
計		2,988,151	1,559,515	2,374,875	1,623,395	8,545,936

■自然学校推進事業

自然学校は、学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、様々な体験活動をとおして、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に関する畏敬の念、感動する心、ともに生きる心を育む等、「生きる力」を育成することを目的として実施している県の補助事業（県補助金）です。平成29年度も兵庫県立南但馬自然学校で実施しました。町内全小学校5年生174人が2班に分かれ、4泊5日（6/12～6/16）の日程で行い、自然観察、登山、昼食作り、コース別体験等、充実した自然学校を体験しました。主な支出は、バス借上料、施設使用料等です。

■賃借料

福崎小学校敷地借上料（638.28坪）	1,320,610円
小学校コンピュータ等借上料	4,289,820円

■備品購入関係

国庫補助金等（理科教育設備整備費等補助金等）により図書購入・理科教材備品購入を行い、施設整備の充実を図りました。

(単位：円)

区分	校名	福崎小	高岡小	田原小	八千種小	事務局	計
一般備品		526,900	270,856	693,227	238,632	0	1,729,615
教材備品		777,127	424,588	518,650	339,685	380,240	2,440,290
図書購入費		199,638	148,629	200,329	211,295	802,139	1,562,030
計		1,503,665	844,073	1,412,206	789,612	1,182,379	5,731,935

■負担金関係 学童農園学習実施状況

体験学習（いも植え・いも掘り） 1人150円
 “ （田植え） 1人150円（稲刈り） 1人300円
 “ （もち麦種まき・もち麦刈取り） 1人250円

学校名	いも植え (人)	いも掘り (人)	田植え (人)	稲刈り (人)	もち麦種まき (人)	もち麦刈取り (人)	入園料 (円)
福崎小	194	142		54			66,600
高岡小	44	44	23	23			23,550
田原小	80	80	77	77	80	77	97,900
八千種小	86	150	63	63			54,300
計	404	416	163	217	80	77	242,350

□効果・達成度

各学校において、それぞれ必要な備品等を購入し、教育環境をさらに充実させることができました。平成29年度も外国語活動事業を委託しました。自然学校では、5年生が自然の中での長期宿泊体験を通して、豊かな感性や社会性を育む活動を行いました。

□課題・改善

理科備品の充足率が不十分で、これからも継続して備品購入・整備に努める必要があります。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
76,142,000	70,664,919	2,108,000		800,000	67,756,919

事業名／小学校施設補修事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総	◆ 取組内容	大規模改修計画の策定、教育施設の改修

◆事業内容(目的・必要性)

学校施設の補修等に要した経費です。

◆事業の成果

老朽化等による不良箇所の修繕及び特別支援教室の整備等を行いました。

■修繕関係

(単位：円)

学校名	内 容	金額	各小学校合計
福崎小	エレベーター補修	308,000	1,849,860
	南校舎2階職員トイレ污水管詰まり解消	92,880	
	防火扉キャッチロック修繕	34,560	
	プールろ過装置修繕	37,800	
	南校舎1階多目的トイレ改修	486,000	
	特別支援学級電話増設	85,860	
	体育館舞台緞帳金物等取付	140,940	
	エレベータ棟外壁ALC目地・クラック部シーリング補修	64,800	
	体育館軒天・樋修理	78,840	
	エレベータ棟ピット水抜き	31,320	
	屋上給水配管保温工事	125,820	
	給食配膳室シャッター修理	95,040	
	廊下長尺シート張替	268,000	
高岡小	受水槽F号ボールタップ修理	30,888	1,307,880
	プール補修	486,000	
	プール漏水配管一部更新	156,600	
	体育館雨漏り修理	216,000	
	通路修理	75,600	
	はん登棒24人用雲梯付遊具修理	279,720	
	ガス漏れ警報器取付	63,072	
田原小	西玄関入口庇改修	203,904	1,909,893
	プールろ過装置改修	1,252,800	
	プール各所補修	99,360	
	ガス調整器取替	54,054	
	運動場西門ネット修理	201,333	
	3階4階廊下・音楽室天井補修	98,442	
八千種小	プールろ過装置修繕	58,320	948,143
	受水槽蓋パッキン取替	16,200	
	キュービクル内ブレーカー（NFB）交換	261,036	
	体育館玄関前水溜まり修理	89,910	
	汚水ポンプ交換	256,565	
	プールテント修繕	194,400	
	汚水ポンプ蓋設置	71,712	
合 計			6,015,776

■調査委託料 高岡小学校漏水調査業務委託 97,200円

■実施設計委託料 高岡小学校プール改修工事実施設計委託料 788,400円

□効果・達成度

緊急を要する箇所については、修繕することができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H30)
大規模改修実施学校数	0	0	0	0	0	3

(※目標学校数は小学校・中学校あわせたもの)

□課題・改善

学校生活における安全に寄与するため、緊急を要する箇所については修繕することができましたが、補修の必要な全ての箇所については、まだまだ補修が追いついていない状況です。補修の必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,200,000	6,804,176		700,000		6,104,176

1次評価： A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.小学校費	2.教育振興費	8,335,000 ^円	8,077,338 ^円	257,662 ^円

心身に障がいをもつ児童の教育及び要保護・準要保護児童の扶助に要した経費です。

事業名／小学校教育振興事業、小学校教育振興枠外事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総◆ 取組内容	特別支援教育の充実	

◆事業内容(目的・必要性)

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。

教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

◆事業の成果

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

福崎小 5学級 (知的、自閉症・情緒①②、難聴、肢体)

高岡小 1学級 (知的)

田原小 5学級 (知的、自閉症・情緒①②、難聴、肢体)

八千種小 3学級 (知的、自閉症・情緒、難聴)

■学校別児童数調 (特別支援学級)

H29. 5. 1 現在 (単位：人)

校名	学年							計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
福崎小学校	10	1	4	1	1	2	19	
高岡小学校	0	1	0	1	0	1	3	
田原小学校	7	0	0	3	1	6	17	
八千種小学校	0	2	2	0	2	0	6	
計	17	4	6	5	4	9	45	

■備品購入費

(単位：円)

校名	福崎小	高岡小	田原小	八千種小	計
一般備品	147,679	0	379,769	250,020	777,468
教材備品	231,735	89,000	81,480	0	402,215
計	379,414	89,000	461,249	250,020	1,179,683

■就学援助費支給状況

経済的理由等で就学困難な児童に対して、就学援助を行いました。

扶 助 内 容	人数(人)	金 額(円)
学 用 品	89	1,001,430
修 学 旅 行	14	236,900
医 療 費	0	0
新入学学用品	17	243,500
給 食 費	84	3,167,580
P T A 会 費	41	43,400
計	245	4,692,810

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な児童の教育環境を整えることができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H30)
地域スクールヘルパー登録者数(人)	462	457	467	428	434	470

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,335,000	8,077,338	490,000			7,587,338

(3) 中学校費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
3. 中学校費	1. 学校管理費	56,680,000 ^円	55,230,325 ^円	1,449,675 ^円

中学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、嘱託2人に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、備品購入費、負担金等です。

事業名／中学校管理事業・中学校校外事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	3 国際化	①国際理解の推進
総◆取組内容	国際教育・交流及び語学教育の推進(学校教育)	

◆事業内容(目的・必要性)

学校教育法に定める目標及び目的達成のための教育を推進しました。

◆事業の成果

目的を達成するために合理的な運営を行いました。

無限の可能性を有する生徒たちが、自ら人間性を養うための教育整備と教育活動の充実を図りました。

■学校別生徒・教職員数調

H29. 5. 1 現在 (単位：人)

校名	学年	1年	2年	3年	計	教員	事務職・用務員
福崎西中学校		85	83	72	240	23	3
福崎東中学校		114	115	103	332	24	2
計		199	198	175	572	47	5
平成28年度		198	177	197	572	49	4

■中学校別生徒数の推移

学校名	H20	H25	H26	H27	H28	H29
福崎西中学校	261	238	237	239	235	240
福崎東中学校	365	339	351	334	337	332
小計	626	577	588	573	572	572

■校医等の報酬

内科医(2人)	1,023,160円	定期健康診断、マラソン前健康診断他
歯科医(2人)	658,880円	
眼科医(1人)	364,300円	
耳鼻科医(2人)	364,750円	
薬剤師(2人)	97,400円	教室の空気環境検査、プール等の衛生検査、食器洗浄検査

■施設修繕料

(単位：円)

福 崎 西 中 学 校	福 崎 東 中 学 校	計
556,788	837,210	1,393,998

■委託料関係

(単位：円)

区分	校名	福 崎 西 中	福 崎 東 中	計
ガ ス 設 備 点 検 委 託 料		71,550	71,550	143,100
植 木 剪 定 委 託 料		153,350	150,000	303,350
リ ソ グ ラ フ 保 守 管 理 委 託 料		89,676	85,656	175,332
「トライやる・ウィーク」推進事業委託料		600,000	600,000	1,200,000
清 掃 委 託 料		120,000	0	120,000
警 備 委 託 料		294,192	294,192	588,384
電 気 設 備 管 理 委 託 料		129,600	129,600	259,200
貯 水 槽 管 理 委 託 料		97,200	104,760	201,960
給 食 用 昇 降 機 点 検 委 託 料		32,400	32,400	64,800
消 防 設 備 点 検 委 託 料		31,212	31,212	62,424
プ ール 循 環 装 置 点 検 委 託 料		24,840	24,840	49,680
エ レ ベ ー タ ー 点 検 委 託 料		440,640	0	440,640
教 育 用 コ ン ピ ュ ー タ 保 守 管 理 委 託 料		321,840	321,840	643,680
電 算 機 器 保 守 管 理 委 託 料		972	972	1,944
計		2,407,472	1,847,022	4,254,494

■借上料

中学校コンピュータ等借上料 2,598,855円

■備品購入費関係

国庫補助金等（理科教育設備整備費等補助金等）により、図書購入・理科教材等備品購入を行い、施設整備の充実を図りました。

区分	校名	福崎西中学校	福崎東中学校	事 務 局	計
一 般 備 品		821,430	1,223,819	793,800	2,839,049
教 材 備 品		555,926	763,693	476,302	1,795,921
図 書 購 入 費		299,462	310,293	0	609,755
進路指導用教材備品購入費		0	129,600	0	129,600
計		1,676,818	2,427,405	1,270,102	5,374,325

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
40,781,000	39,352,688	1,434,000			37,918,688

事業名／中学校施設補修事業

◆事業内容(目的・必要性)

学校施設の補修等に要した経費です。

◆事業の成果

老朽化等による不良箇所の修繕等を行いました。

■施設補修関係

(単位：円)

学校名	内 容	金額	各学校合計
福崎西中	グラウンド南側流土止め芝張り	52,272	2,671,272
	ろ過器へアーキャッチャードレン修繕	21,600	
	校庭南側金網・ネットフェンス破れ修繕	156,600	
	廊下及び階段踊り場長尺シート張替	2,440,800	
福崎東中	プールサイド改修	5,508,000	6,141,960
	体育館玄関ポーチ土間修理	88,560	
	運動場砂場改修	297,000	
	運動場幅跳びレーンレンガ撤去	81,000	
	運動場土壌改良	167,400	
合 計			8,813,232

■工事請負費 福崎東中学校プール防水補修工事 2,484,000円

□効果・達成度

いずれの中学校においても学校生活における安全に寄与するため、緊急を要する箇所について、修繕することができました。しかし、補修の必要な全ての箇所については、まだまだ補修が追いついていない状況です。

□課題・改善

補修の必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11,314,000	11,297,232				11,297,232

1次評価： A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
3. 中学校費	2. 教育振興費	5,989,000 ^円	5,939,575 ^円	49,425 ^円

心身に障がいのある生徒の教育及び要保護・準要保護生徒の扶助に要した経費で、主な支出は、一般事務費、備品購入費及び就学援助費です。

事業名／中学校教育振興事業・中学校教育振興枠外事業

◆事業内容(目的・必要性)

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。

教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

◆事業の成果

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

西中 2学級 (知的、自閉症・情緒)

東中 3学級 (知的、自閉症・情緒、難聴)

■学校別生徒数調 (特別支援学級)

H29. 5. 1 現在 (単位: 人)

校名 \ 学年	1年	2年	3年	計
福崎西中学校	3	1	2	6
福崎東中学校	2	3	2	7
計	5	4	4	13

■備品購入費

(単位: 円)

区分 \ 校名	福崎西中学校	福崎東中学校	計
一般備品	52,920	210,708	263,628
教材備品	0	49,518	49,518
計	52,920	260,226	313,146

■就学援助費支給状況

経済的理由で就学困難な生徒に対して就学援助を行いました。

扶助内容	人数(人)	金額(円)
学用品	46	1,037,950
修学旅行	12	659,800
医療費	1	17,480
新入学学用品	16	320,000
給食費	46	2,175,324
クラブ活動費	28	378,400
生徒会費	36	54,100
P T A 会費	36	70,200
計	221	4,713,254

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な児童の教育環境を整えることができました。

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めていきます。

予算額	決算額	財源内訳 (単位: 円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,989,000	5,939,575	153,000			5,786,575

(4) 社会教育費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	1. 社会教育総務費	50,062,000 ^円	49,254,594 ^円	807,406 ^円

生涯学習社会の充実、家庭や地域社会における教育力の向上に資するための社会教育全般にわたる事業の推進、また、青少年健全育成活動の推進に要した経費です。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総◆取組内容	多彩な学習機会を提供	
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習	①生涯学習施設の整備・充実
総◆取組内容	バリアフリー化の推進	生涯学習の場を広く提供
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習	②情報提供の充実
総◆取組内容	積極的な情報の提供	
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習	③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総◆取組内容	仕組みづくりなどの取り組み	機会の提供、グループや人材の育成
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総◆取組内容	地域の文化振興	
Ⅳ 健康・医療・福祉	3 高齢者福祉	④生きがいづくりと社会参加の促進
総◆取組内容	生涯学習の場の提供	

事業名／社会教育総務一般事務費

◆事業内容(目的・必要性)

社会教育振興のために、行政と地域住民をつなぐ社会教育委員の活動を支援しました。また、成人式や吉識雅夫科学賞を実施し、社会教育の推進に努めました。

◆事業の成果

■社会教育委員会の活動

・社会教育委員会

- 第1回 5月30日(火)
- 第2回 9月7日(木)
- 第3回 12月11日(月)
- 第4回 3月27日(火)

- ・中・西播磨地区社会教育連絡協議会合同研修会 8月25日(金)
- ・近畿地区社会教育研究大会(京都大会) 9月7日(木)
- ・中播磨地区社会教育連絡協議会研修会 1月19日(金)

■成人式 1月8日(月・祝) 該当者235人中157人の参加

新成人代表10人による実行委員会を組織しました。企画立案から記念品の選定、式典・アトラクション準備、当日の式典等の進行までを、実行委員が積極的に進めてくれました。

- ・第1部 成人式式典
- ・第2部 アトラクション(ビンゴゲーム・DVD上映)

■第10回吉識雅夫科学賞

吉識雅夫の顕彰を図るとともに子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めることを目的として、自然科学分野で優れた研究等を行った児童・生徒に対して、賞を贈りました。

・小学校低中学年の部

宮田 悠衣（福崎小学校3年生） 作品名「地震のゆれに強い家の研究」

・小学校高学年の部

大塚みつき（田原小学校6年生） 作品名「Let's 草木染め」

・中学校の部

上田 輝（福崎東中学校3年生） 作品名「水溶液と光の屈折の実験」

□効果・達成度

社会教育委員から意見を聞き、成人式や吉識雅夫科学賞をはじめとする社会教育行政の推進に努めました。平成29年度の成人式式典では、平成28年度に引き続き新成人から家族への「感謝」の手紙を、家族から新成人へ「励まし」の手紙を読み上げてもらいました。普段なかなか口にできない家族への感謝、我が子への愛情がこめられた手紙に会場全体が感動に包まれました。成人式の出席率は約67%でした。吉識雅夫科学賞は、平成29年度で10回目を迎え、地域住民へのさらなる周知を図るため、吉識雅夫先生の功績を紹介するコーナーも設け、児童・生徒の研究成果を展示発表しました。

□課題・改善

地域のニーズや課題に対応した各種事業が展開できるよう、社会教育委員の意見を求めていきます。ホームページ等を用いて社会教育委員会の活動を発信し、社会教育委員会の見える化に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,926,000	1,534,350				1,534,350

事業名／地域ぐるみ教育支援事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総	◆ 取 組 内 容	学校支援地域本部事業の実施

◆事業内容(目的・必要性)

学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを目的に活動しました。主な取り組みは、土曜英語教室・サマースクール・ウィンタースクール等の教育支援活動、登下校時の見守りや校内巡視、学校から依頼を受けて行った図書貸し出し等の学校支援活動です。

◆事業の成果

■学校支援活動（学校支援地域本部事業）

【ヘルパー活動】

スクールヘルパー … 午前・午後各3～5人ずつによる校内巡視

地域ヘルパー … 登下校時の見守り（1自治会で2～3か所）

	スクールヘルパー	地域ヘルパー
福崎小学校（158人）	毎週火・木曜日	毎週金曜日
高岡小学校（59人）	毎週水曜日	毎週水曜日
田原小学校（123人）	毎週月・水・金曜日	週3回
八千種小学校（94人）	毎週火・木曜日	毎週水曜日

【学校支援ボランティア活動】

依頼内容	学校	支援者	実施日	活動場所
図書貸出	八千種小学校	28人	5月1日から毎週月曜～金曜(昼)	図書室

■教育支援活動（地域で“共育”土曜チャレンジ学習事業）

- ・土曜英語教室 小学5・6年生対象

平成29年6月から平成30年3月までの土曜日 各校区月1回

高岡県民交流広場、福崎県民交流広場、田原県民交流広場、八千種県民交流広場

- ・サマースクール 小学4・5・6年生対象

平成29年7月31日(月)～8月4日(金)

八千種県民交流広場

平成29年8月1日(火)～3日(木)・8日(火)・9日(水)

高岡県民交流広場

平成29年8月7日(月)～11日(金)

福崎県民交流広場、田原県民交流広場

- ・ウィンタースクール 中学3年生対象

平成29年10月14日(土)～平成30年3月3日(土)の土曜日

文化センター、サルビア会館（会場交互で実施）

□効果・達成度

地域ボランティアの支援で、子どもたちの安全確保ができました。活動を通して子どもたちと地域ボランティアがふれあうこともできました。また、学校の休業日・土曜日に、地域の力を借りて学習の場を提供することもできました。

□課題・改善

継続的な活動にしていくために、各学校へのボランティア制度の周知、ボランティアの確保に努めます。また休業日の学習への参加者が増えるよう、より一層周知に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,155,000	1,054,043	634,000			420,043

事業名／青少年健全育成関係事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総 総	◆ 取 組 内 容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育啓発 積極的な非行防止・環境浄化活動
		支援体制の充実(青少年やその家族などへの相談、指導)

◆事業内容(目的・必要性)

青少年の健全育成を図るため、青少年問題協議会の開催や啓発リーフレットの作成、青少年補導委員会活動への補助等を行いました。

◆事業の成果

■青少年問題協議会の開催（年2回）

第1回目 平成29年6月26日（月）

第2回目 平成30年2月23日（金）

■研修会・フェスティバルの開催

・人権・青少年健全育成研修会

（区長、人権教育推進委員、青少年健全育成委員、補導委員合同研修）

平成29年5月20日（土） 啓発DVD視聴・講話 参加者：94人

・人権・青少年健全育成フェスティバル

平成29年12月9日（土） 福崎町エルデホール 参加者：313人

（内容） 体験発表 小中学生

講演 演題：「LD（学習障害）の挑戦！ 算数0点から新聞記者に」
～苦手は得意でカバー 個性を伸ばして生きる～

講師：フリーライター 大橋 広宣

展示 人権意識高揚活動記録、人権ポスター・人権標語

■青少年健全育成啓発リーフレットの作成（各戸、町内店舗等に配布） 6,300枚 16,250円

■青少年補導委員会活動状況

・定例会 11回

・街頭補導（下校時巡回、白ポスト回収、長期休暇中巡回、イベント時巡回等）

年度	27年度	28年度	29年度
街頭補導回数	86回	82回	82回

□効果・達成度

研修会、フェスティバル等により、町民の青少年健全育成意識を高めることができました。自治会単位研修会では、学校の先生方の参加により、町民に子どもたちの学校での様子等について知っていただけました。また、啓発リーフレットの作成や啓発活動により「地域の子どもは地域で育てる」という意識を高めることができました。

□課題・改善

今後も地域の青少年健全育成委員、青少年補導委員会、学校、各種団体との連携を図り、有害環

境の改善や声かけ運動を実施します。子どもの犯罪被害、ネット依存が減少するよう改正された青少年愛護条例について啓発リーフレットを用いて町民へ周知します。スマートフォン等の利用の低年齢化が進んでいます。引き続き、小学校におけるインターネット利用に関する基準づくりを支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,819,000	2,608,470	15,000			2,593,470

事業名／家庭教育学級開設事業

◆事業内容(目的・必要性)

幼稚園（4園）・小学校（4校）・中学校（2校）の保護者会会員・PTA会員を対象に、各保護者会・PTA学級の活動を援助し、子育てについて保護者の抱える問題や社会的に学ぶ必要のある課題に対応するため、学習会や講演会の開催、また、保護者同士のコミュニケーションを持つ奉仕活動やスポーツ大会等を1年通して実施しました。

◆事業の成果

■家庭教育学級委託料

幼稚園 4園@40,000円=160,000円

小中学校 6校@80,000円=480,000円

□効果・達成度

学級開設により、責任を持って子育てができる資質と実践力を学び、家庭の教育力を高めることができました。

□課題・改善

今後も継続して実施し、保護者の子育てを支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
640,000	610,317				610,317

事業名／各種団体育成事業

◆事業内容(目的・必要性)

社会教育関係団体を育成することを目的とし、自主的な活動を財政的な面から支援しました。主な支出は、町PTA、町文化協会への補助金です。

◆事業の成果

■負担金

・神崎郡美術協会負担金 22,000円 ・神崎郡連合PTA協議会負担金 56,000円

■補助金

- ・福崎町PTA協議会補助金 80,000円 ・福崎町文化協会補助金 400,000円

□効果・達成度

町内及び郡内の社会教育関係団体と連携を図り、各種事業を実施することができました。

□課題・改善

今後も継続して実施し、社会教育の発展に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
560,000	560,000				560,000

事業名/こころ豊かな地域づくり推進事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総	◆ 取 組 内 容	学校支援地域本部事業の推進(地域教育力の向上)

◆事業内容(目的・必要性)

こころ豊かなまちづくりと人づくりをめざし、福崎町の地域づくり、景観づくりをボランティアの立場から考えて行動しようとする自主的なグループを育成する事業を実施しました。

◆事業の成果

■福崎町ココロンクラブ

年間9回(4月～11月・3月の毎月1回)役場及びもちむぎのやかた周辺道路の街路樹下の維持管理を行いました。

■みどりのグループ

年間を通じて、毎月2回、町内の5か所の花壇と、県のプランターの維持管理を行いました。

■福崎町手芸ボランティア

趣味の手芸作品を作って販売し、売上金を社会福祉協議会に寄付しました。

■国際食文化交流の会

福崎町在住の外国人が暮らしやすく、日本人と外国人が異なる文化を尊重しながらともに生活できる環境づくりを進めるため、2か月に1回、料理を通して国際交流を行いました。

■たんぽぽ

子どもや高齢者、障がいのある方々に、お話や簡単な手遊び等で、癒しのひとときを過ごしてもらいました。

□効果・達成度

日本語サロンでは毎月2回学習者のレベル別グループ学習で、ニーズに応えることができたほか、“住みよい町づくり”をめざして、ボランティア会員に大変熱心に取り組んでいただきました。

□めざそう値

総合戦略アクションプランK P I	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H31)
日本語サロン平均受講者(人数)	—	8	14	14	27	15→30

□課題・改善

ボランティア会員の高齢化が進んでいるため、ボランティアの輪を広げて新規会員の加入促進に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
390,000	339,041				339,041

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	2. 公民館費	7,323,000 ^円	7,018,317 ^円	304,683 ^円

生涯学習の場の提供、町民が主体的に学習するための講座や教室の開講に要した経費です。

事業名／公民館運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総◆取組内容	施設の開放、利用促進	
II 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総◆取組内容	住民企画事業の実施	
IV 健康・医療・福祉	3 高齢者福祉	④生きがいくりと社会参加の促進
総◆取組内容	生涯学習の場の提供	

◆事業内容(目的・必要性)

町内における各種文化活動やクラブ活動の活性化を図るとともに、地域住民に活動の場と交流の機会を提供するため、利用者のニーズに応じたよりよい施設運営を行いました。

◆事業の成果

■公民館クラブ活動

登録クラブ数及び人数

登録会場名	登録クラブ数(クラブ)	登録人数(人)
文化センター会場	34	367
八千種研修センター会場	19	208
地区会場	29	204
合計	82	779

公民館クラブは町内で活動する文化クラブを対象とし、公民館クラブ連絡協議会(事務局：文化センター)に登録した団体で組織されています。各クラブとも熱心に取り組み、住民の文化の高揚、研さんの場として施設を有意義に利用されました。

■文化功績賞

氏名	所属	分野	内容
宮田理久	町立福崎小学校5年生	読書感想文	「第63回青少年読書感想文兵庫県コンクール」県学校図書館協議会会長賞
牛尾優那	町立福崎西中学校2年生	標語	兵庫県緑化推進協会主催「緑化作品コンクール」2席
松岡莉緒	町立福崎東中学校2年生	少年の主張の作文	「第39回少年の主張兵庫県大会」優秀賞
羽室京太郎	町立福崎西中学校3年生	絵画	「第39回兵庫県総合文化祭美術部門」特選
木畑歩	町立福崎東中学校3年生	税についての作文	平成29年度中学生の「税についての作文」兵庫県納税貯蓄組合総連合会会長賞

赤松紗奈	町立福崎東中学校3年生	社会を明るくする運動の作文	「平成29年度社会を明るくする運動作文コンテスト」兵庫県更生保護協会理事長賞
------	-------------	---------------	--

□効果・達成度

町内外の行事やイベントに積極的に参加することで、各クラブの活動の幅が広がりました。

□課題・改善

公民館クラブ会員の増加、活性化に向けて若年層の利用促進を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,914,000	1,873,698				1,873,698

事業名／老人大学事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
IV 健康・医療・福祉	3 高齢者福祉	④生きがいがづくりと社会参加の促進
総◆取組内容	生涯学習の場の提供	

◆事業内容(目的・必要性)

高齢者がともに学び語り合うことで、充実した生きがいのある生活を送るための基盤を確立するとともに、地域活動を実践していく指導者の養成を目的として、老人大学事業を実施しました。

◆事業の成果

できるだけ多くの方々に学習していただけるよう、町内外を問わず募集しました。神崎学園(2年制)・福寿学園として2学園制で運営しました。専門講座では、年間20回、園芸(野菜・花き)・陶芸・書道漢字・書道かな・手芸・舞踊・史学・ITの全8コースの講座を行いました。一般教養講座については、年間10回の講演会等を開催し、10月に親睦運動会、11月に老人大学祭を実施しました。

■受講生の推移

(単位:人)

	27年度	28年度	29年度
神崎学園	94	92	100
福寿学園	199	204	196
合 計	293	296	296

□効果・達成度

老人大学を運営することにより、学習の場と交流の機会を提供し、生きがいがづくり及び社会参加を促進しました。また、老人大学学生自治会の自主的なクラブ活動等も活発になりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H30)
老人大学受講者数	312	300	293	296	296	360

□課題・改善

受講生のニーズを調査し、専門講座の再編等を検討します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,400,000	2,286,228			78,000	2,208,228

事業名／セミナー事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
IV 健康・医療・福祉	3 高齢者福祉	④生きがいくりと社会参加の促進
総	◆ 取 組 内 容	生涯学習の場の提供

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民が現在の生活を見つめ直して、心豊かで生きがいのある人生を送ることができるよう、サルビアセミナーを実施し、有益な知識や情報を提供しました。

◆事業の成果

■サルビアセミナー

開催回数：10回（うち5回公開講座）

学習テーマ：「東洋医学と健康」「男女共同参画ってなあに?」「健康と食生活」「百人一首を読む」「危機管理のための防災心理学入門」「西郷隆盛の生涯」「漫画家がみた播州弁」「心が教えてくれること」等

□効果・達成度

座学だけでなく、参加体験型講座や課外学習も行い、講座の活性化を図りました。

受講生同士の交流も活発になり、新たなコミュニティ形成につながりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H30)
セミナー事業受講者数	211	190	194	177	178	220

□課題・改善

受講者の増加に向け、アンケート調査等を実施し、講座内容の創意工夫に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
510,000	462,101			149,500	312,601

事業名／美術展事業

◆事業内容(目的・必要性)

優れた芸術作品に親しみ、地域住民の芸術文化への関心を高めるために、第35回福崎町美術展を開催しました。地域に根をおろした内容のある公募美術展として定着し、約600人の来場者がありました。

た。なお、平成29年度は出品された作品を審査の上、入賞・入選作品のみ展示しました。

◆事業の成果

■第35回福崎町美術展

会期：平成29年5月19日（金）～5月21日（日）

会場：エルデホール メインホール

部門及び審査員	日 本 画	安惠隆司
	洋 画	志智 正
	書	岡本正志
	写 真	山岡成男
	彫塑・工芸	大上 巧

美術展応募数・展示数

	27 年度	28 年度	29 年度
応募数（点）	209	184	193
展示数（点）	209	184	130

□効果・達成度

町内外から質の高い作品が出展され、日頃の創作活動の成果を発表する場、芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供することができました。

□課題・改善

作品応募数及び来場者数が増えるよう、広報活動の充実に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
964,000	894,885				894,885

事業名／文化振興事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総◆取組内容	住民企画事業の実施	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民に優れた芸術文化に触れる機会を提供することを目的に、事業を実施しました。オータムコンサートではピアノ五重奏のコンサートを、文化講演会では舞の海秀平氏による講演を実施しました。

◆事業の成果

■オータムコンサート

日時：平成29年11月18日（土）

場所：エルデホール メインホール

出演：音楽の館 ヴィルトーゾピアノ五重奏団

内容：「5人の世界的ソリストによる至福のピアノ五重奏」

入場者数：約300人

■文化講演会

日時：平成29年11月3日（金）

場所：文化センター 大ホール

演題：「可能性への挑戦」

講師：舞の海秀平

入場者数：約550人

□効果・達成度

事業を通して、地域住民の文化意識の高揚、文化交流を図ることができました。

□課題・改善

より多くの地域住民に関心をもってもらい、来場者が増えるように、住民ニーズを調査します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,535,000	1,501,405				1,501,405

1次評価： A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	3. 図書館費	49,577,000 ^円	49,028,039 ^円	548,961 ^円

平成29年度は、以前より要望のあった自習コーナーを整備し、より多くの方に利用される施設づくりに努めました。また福崎町子どもの読書活動推進計画の目標達成状況把握のため、読書に関するアンケート調査を実施し、子どもの読書の現状把握に努めました。推進目標達成に向けて各学校と連携し、図書館見学の受け入れや、町内の学校を訪問しておはなし会を継続して開催することで、子どもが読書の習慣を身につけられる環境づくりに努めました。

事業名／図書館管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の学習・調査研究を行う情報拠点として、また、各種講座やイベント、ボランティア活動等を通じた学習発表の場として、安全で快適に利用していただくため、適切な施設管理に努めました。

◆事業の成果

図書館をより長く、安全に安心して利用していただけるよう、施設の維持補修等を実施しました。主な修理箇所は次のとおりです。

- ・自動火災報知機設備、非常放送設備、不活性ガス消火設備バッテリー交換 (244,728円)
- ・トイレ系統換気扇取替 (329,400円)

また図書館機能拡充のため、自習コーナーを整備しました。

工事費：999,000円

請負業者：牛尾建設株式会社

座席数：10席

□効果・達成度

定期点検等の実施により、安全で安心な施設管理、運営ができています。

□課題・改善

開館から10年以上経過し、各設備等に傷みが出てきているため、補修を要するところを早期に見出し、修繕をすることで、施設の耐久性延伸を図る必要があります。定期的な点検、補修を継続して実施することで、安心して利用できる施設をめざします。

予算額	決算額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
10,735,000	10,634,525				10,634,525

事業名／図書館運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 効率的で効果的な行政運営	②行政サービスの向上
行 ◆ 取 組 内 容	公共施設の相互利用促進事業	
II 教育・文化	5 生涯学習	②情報提供の充実
総 ◆ 取 組 内 容	イベントの実施、蔵書構成	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の自主学習を支え、ニーズに応じた情報提供を行うため、資料の整備や図書館広報・読書推進のための行事等を行いました。

また、幼少期の読書習慣の重要性を考慮した行事等を実施しました。

◆事業の成果

町内小中学生に配布している「福崎町立図書館読書ノート」が定着し、小学生を中心に読書ノートを持って本を借りに来る子どもが増えており、読書習慣を身につける一助となりました。またフクちゃん読書の日イベント、ワークショップの実施により、子どもの読書活動推進に努めました。また、図書館に興味を持ってもらえる行事を実施することで来館のきっかけづくりに努めました。

■子ども向け行事

たなばた会

ふじもとのりこさんおはなし会&ワークショップ

図書館クリスマスマーケット

図書館であそぼ会

■大人向け行事

キャンドルナイト

ストーリーテリング講座（全3回）

■図書館応援隊に対し、補助金を交付し、活動を助成しました。（200,000円）

■貸出冊数・貸出人数

	貸出人数(人)	貸出点数(点)	年度末登録者数(人)
27年度	49,253	222,407	14,512
28年度	48,474	239,620	15,642
29年度	46,224	227,801	16,511

□効果・達成度

播磨圏域相互利用により、町外利用者への貸出点数が増えています。町外の主な登録者は姫路市、市川町、神河町在住者です。

平成29年度末の蔵書点数は、144,849点となりました。

定例行事の「えほんのじかん」「おはなし会」「おたのしみ会」等は、応援隊と協力しながら、たくさん子どもたちに参加してもらい、絵本や読書の楽しさを伝えることができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H30)
図書館貸出人数	46,717	46,871	49,253	48,474	46,224	50,000
総合戦略アクションプランKPI	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H31)
図書館町外登録者数(人数)	1,258	1,319	2,172	2,929	3,486	3,200→3,600

□課題・改善

学校からの図書館見学を契機に、図書館利用につながっているため、引き続き学校との連携を図り、本に触れる機会を増やし、子どもの読書活動を推進していきます。

今後は利用の少ない中高生に対し、図書館利用につながる行事を増やす等、読書習慣を定着させる必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
23,287,000	22,873,411			400,000	22,473,411

1次評価： B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	4. 文化センター 管理費	32,589,000 ^円	31,960,063 ^円	628,937 ^円

町民はもちろんのこと、町外の方々にも多く利用され、社会教育及び生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている文化センターの管理・運営に要した経費です。

事業名／文化センター管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総◆ 取組内容	施設の開放、利用促進	

◆事業内容(目的・必要性)

近隣施設との連携によって、地域住民の文化意識の向上、福祉増進及び体育振興を図るため、各種事業展開の中心的役割を果たしました。学習活動、文化活動、ボランティア活動等の拠点として、文化センターの効率的な管理運営を行いました。

◆事業の成果

■施設の維持補修

平成29年度は施設の維持補修として、外構改修工事（1,143,720円）、ロビースロープ改修工事（142,560円）、大ホール舞台のバトンガイドレールストッパー取付工事（118,800円）等を行いました。

■文化広報誌

「文化センターだより」「福崎町文化第34号」を刊行し、各戸配布しました。

■文化センターの利用状況

	有料及び無料使用件数					使用料 (円)	利用者数 (人)
	有料 (件)	無料(件)			合計 (件)		
		町関係他	公民館	教委			
27年度	337	168	1,113	415	2,033	892,803	36,744
28年度	338	176	1,170	409	2,093	939,574	37,475
29年度	258	170	1,011	396	1,835	844,547	36,302

□効果・達成度

適切な補修により、施設の安全管理に努めました。

□課題・改善

施設の老朽化や社会状況から、耐震補強等の抜本的な施設補修が必要となってきました。利用者の高齢化も進み、安全面や利便性の向上を最優先に検討していきます。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
8,886,000	8,291,746			844,547	7,447,199

1次評価： B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	5. エルデホール 運営費	58,238,000 ^円	56,713,390 ^円	1,524,610 ^円

地域住民の自由な創造活動を促進し、地域の振興と文化の発展を図るため、芸術・文化活動の場として貸館を行い、また自主公演事業を実施しました。施設の運営、管理に要した経費です。

事業名／エルデホール管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総◆ 取組内容	施設の開放、利用促進	

◆事業内容(目的・必要性)

エルデホールは隣接した施設とともに文化、地域振興の拠点としての役割を担っています。施設及び設備の利用をとおして地域住民により高い水準の文化活動を促進するため、地域住民が安心して利用できる施設となるよう施設の管理運営を行いました。

◆事業の成果

貸館事業としては、講演会・講習会・ピアノ等発表会、各種展示・販売、会議、各種パーティー、屋外イベント等、多種多様に活用されました。

■利用状況

年度			メインホール	イベントホール	洋室	スタジオ	ホワイエ	屋外舞台
27年度	開館日数 293	利用日数(日)	187	162	190	133	114	12
		稼働率(%)	63.82	55.29	64.85	45.39	38.91	4.10
28年度	開館日数 308	利用日数(日)	162	166	211	108	103	12
		稼働率(%)	52.60	53.90	68.51	35.06	33.44	3.90
29年度	開館日数 307	利用日数(日)	180	155	217	123	119	11
		稼働率(%)	58.63	50.49	70.68	40.07	38.76	3.58

※稼働率＝利用日数／開館日数

利用日数は利用のあった日数。1日に複数の利用者があっても1としています。

年度	貸館使用料収入	使用回数	利用者数
27年度	3,520,267円	897回	53,190人
28年度	3,318,537円	840回	48,589人
29年度	3,707,823円	900回	47,927人

■主な施設修繕費及び設備更新

開館から20年以上が経過し、施設や設備に故障・劣化が生じています。お客様に影響を及ぼす箇所を優先し平成28年度から徐々に修繕・更新をはかっています。そんな中、平成29年度は音響設備更新（2年目）を実施しました。特殊建築物定期調査から指摘事項としてあがった排煙窓の修繕、館内非常灯取替など緊急性を要するものについても修繕を実施しました。また、安全で快適なホールを維持し安心して使用していただけるよう、各種保守点検を行いました。主な修繕費及び設備更新に係る経費は下記のとおりです。

- ・特殊建築物定期調査指摘事項修繕関係（3箇所）（1,299,715円）
- ・音響室・調光室等冷暖房入れ替え（1,674,000円）
- ・音響設備更新（2年目）（2,700,000円）
- ・ Horizont幕取替（637,200円）

□効果・達成度

音響設備更新（3年計画）の2年目としてマイクのデジタル化とアンプ等の入れ替えをおこないました。これにより貸館業務、自主公演事業において、より安定した音響環境を構築することができました。また夏場に音響室・調光室等の冷暖房が故障し、精密機器への影響が心配されましたが早急に入れ替えを行い、他の機器への影響を生じさせることなく対応できました。

□課題・改善

施設の老朽化により、修繕の必要箇所が増えてきています。また今後予想外の修繕がでてくる可能性も考えられます。緊急を要する箇所を洗い出し計画的に修繕を行っていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
28,013,000	26,889,620		1,500,000	3,737,955	21,651,665

事業名／エルデホール自主公演事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習	③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総◆ 取 組 内 容	文化プロデューサー養成講座などの機会提供	
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総◆ 取 組 内 容	住民企画事業の実施	

◆事業内容(目的・必要性)

公演を通じて、地域住民に人生の生きがいと楽しみを提供できる機会をつくることを目的に、自主事業を実施しました。事業は、住民の要望に基づく事業、若者文化の掘り起こし事業、住民参加型事業等、テーマ別に実施しました。

また、文化プロデューサー育成講座はニーズに合ったものへ見直し、検討課題となりました。

◆事業の成果

■自主事業実施状況

地域文化の振興と、文化・芸術への興味や知識を深めていただくために7回の自主公演事業（うち1回は住民企画事業）を実施しました。これに伴う入場料収入の合計は3,341,600円でした。

・自主事業一覧

実 施 日	内 容	人数 (人)
4月9日(日)	【住民企画事業】 ワタナベフラワーライブ	290
6月10日(土)	安芸高田神楽	278

8月12日(土)	エルデサマーコンサート2017 朴葵姫(パク・キョヒ)ギターコンサート	341
10月14日(土)	笑う門には福来る! 福崎で笑おう、嘉門タツオライブ!!	293
10月28日(土)	エルデ秋の映画祭	143
11月11日(土)	ぐっさんハッピーエンタテイメントショー	301
3月21日(水・祝)	ダ・カーポハートフルコンサート	325
計		1,971

□効果・達成度

平成29年度も住民の方が企画者として事業に参加していただく住民企画事業を実施しました。今回は1部にダンス&ボーカルコンテスト、2部にプロの方とコンテスト勝者との共演など、今までできなかったような住民活力をいかした企画が実施できました。また伝統芸能、クラシック、歌のコンサートと様々なジャンルを実施し幅広い世代の方に芸術とエンターテイメントを楽しんでいただけました。

なお、平成29年度のエルデホール自主公演事業平均入場者数は、282人でした。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H30)
自主公演事業平均入場者数(エルデホール)	191	288	271	272	282	230→290

□課題・改善

平成29年度の自主公演につきましては比較的安定した集客を維持できました。すべての企画において行きたいと思っただけのもの企画するのは難しいですが、公演鑑賞の良さを知っていただきリピーターになってもらえるよう引き続き努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11,460,000	11,112,115			3,341,600	7,770,515

1次評価： A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	6. 研修センター運営費	6,226,000 ^円	6,209,239 ^円	16,761 ^円

八千種研修センターは、文化センター（中央公民館）の分館として、地域住民の文化教養の向上や地域社会の連携を深めるために運営しました。その管理・運営を効率的に行うために要した経費です。

事業名／研修センター管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域文化の向上、研さんの場として、利用者に安全で快適に利用していただくため、適切な管理・運営を行いました。

◆事業の成果

■施設の維持補修

平成29年度は、施設の維持補修として、2階和室畳入替工事（363,420円）、動力設備改修（20,196円）、館内非常灯取替（104,220円）を実施しました。

■八千種研修センターの利用状況

第32回八千種研修センターまつりを平成29年10月21日（土）・22日（日）に実施し、当センターを利用している各種活動団体が日頃の活動の成果を発表しました。なお、2日目には、九州北部豪雨復興支援チャリティーとして「バザー」を開催しました。

■利用状況の推移及び貸出図書数 （ ）は有料件数

	使用件数(件)	使用人数(人)	使用料 (円)	貸出図書数
27年度	889 (53)	14,307	20,850	1,957
28年度	984 (218)	12,667	32,550	1,778
29年度	898 (145)	11,403	31,280	1,622

□効果・達成度

公民館クラブや各種活動団体の地域文化活動の拠点として、活動の場や交流の機会を提供しました。2階和室畳入替工事により、利用者の快適性が向上しました。

□課題・改善

平成30年度は、外壁補修工事やクロス張替工事を実施し、施設改修を進めます。

予算額	決算額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,678,000	3,665,007			70,700	3,594,307

1次評価： B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	7. 青少年野外活動センター費	4,291,000 ^円	4,221,895 ^円	69,105 ^円

青少年健全育成施設としての野外活動センターの管理に要した経費です。

事業名／青少年野外活動センター管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	② 青少年の健全育成の推進
総◆ 取組内容	多彩な学習機会を提供	

◆事業内容(目的・必要性)

野外活動を通じて、青少年の健全育成を図り、また、地域住民に自然にふれる機会や交流の場を提供するため、安全快適な施設管理を行いました。

◆事業の成果

■主な施設修繕料

- ・ 山小屋給湯器修理 35,640円 (請負業者：高岡電工(株))
- ・ 河川土砂撤去 86,400円 (請負業者：高岡電工(株))

■主な委託料

- ・ 清掃委託料 148,000円 (請負業者：(株)三創、田口区)
- ・ 警備委託料 147,096円 (請負業者：セコム(株)加西営業所)
- ・ 電気設備管理委託料 172,800円 (請負業者：小國電気設備管理事務所)

■利用状況

(単位：円)

年度	施設利用者数(人)	利用団体数	施設利用料	山小屋	テント	テントサイト	食器類	管理棟・多目的ホール	シャワー	その他	合計
27年度	8,885	434	1,255,455	132,300	115,360	42,420	38,400	1,020	84,200	0	1,669,155
28年度	6,790	409	1,111,345	127,860	64,890	34,650	37,875	1,275	92,800	0	1,470,695
29年度	5,657	383	992,340	93,975	51,500	30,450	26,775	1,530	90,500	0	1,287,070

※利用者数は延べ人数で集計しています。

効果・達成度

青少年野外活動センターは、自然に親しみながら友愛と協力の心を育て、青少年の健全育成を図ることを目的にした施設として利用者に定着しています。

課題・改善

青少年野外活動センターは、近くに七種の滝、つなぎ岩、金剛城寺などがあり、1年を通して自然の景観に優れています。町内外の青少年健全育成団体に年間を通して利用いただけるよう、恵まれた立地を生かした広報活動を行う必要があります。また、利用者の安全を図るため、老朽化した管理棟テラスの手摺を更新する必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,291,000	4,221,895			1,287,070	2,934,825

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	8. 人権教育振興費	5,134,000 ^円	4,990,581 ^円	143,419 ^円

急激な社会構造の変化により、人権問題も多様化・複雑化し、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、同和問題、外国人等の問題に加えて、個人情報流出、働く人の人権等、新たな問題が生じています。また、国内では人権に関連した法律の整備が進んでいます。

福崎町では、日常生活の中で人権尊重を自然に態度や行動として表すことが文化として定着している社会をめざして、人権について一層理解を深めていただくために、家庭や学校、職場、地域において研修を行い、人権意識の高揚を図りました。自治会単位研修会の場で、また、人権啓発冊子を用いて、「障害者差別解消法」や「部落差別解消推進法」等、人権に関わる法律について町民へ周知しました。

また、男女がお互いの人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らすことができる男女共同参画社会の実現をめざすため、「福崎町男女共同参画基本計画」を効果的に推進しました。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	1 参画と協働	④男女共同参画社会の実現
総◆ 取組内容	関係機関連携、啓発活動の推進	学習機会の充実
II 教育・文化	6 人権教育	②人権尊重の視点にたった行政の推進
総◆ 取組内容	広聴・広報活動と情報公開	

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値・行政改革	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H30)
審議会委員などへの女性登用率	26.2%	27.4%	29.7%	31.8%	33.0%	30.0%

事業名／人権教育振興事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
II 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総◆ 取組内容	自治会学習会 人権フェスティバルの開催	地域の教育力の活用

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民等の人権意識高揚を図るため、自治会単位研修会を開催しました。また、「人権文化を高める教育内容を創造しよう」をテーマとした研究大会に参加しました。

男女共同参画社会実現のため、「福崎町男女共同参画基本計画」に基づき、男女共同参画の周知、啓発を図りました。

◆事業の成果

■研修会の開催及び研究大会・講演会への参加

- ・人権・青少年健全育成研修会

(区長、人権教育推進委員、青少年健全育成委員、補導委員合同研修)

平成29年5月20日(土) 啓発DVD視聴・講話 参加者：94人

- ・自治会単位人権・青少年健全育成研修会
32自治会が実施 参加者：1,065人
- ・神崎郡人権教育研究大会
平成29年8月1日（火） 田原小学校
学校教員を主に企業の参加者により人権関係の研究課題を討議 参加者：99人
- ・神崎郡人権教育研究協議会 学校園所部会人権教育講演会
平成29年8月22日（火） 福崎町エルデホール 参加者：72人
講師： 前兵庫県人権教育研究協議会 会長 有正 省三
演題：「これからの人権教育の推進」
- ・兵庫県人権教育研究大会西播磨地区大会
平成29年8月20日（日） 上郡町生涯学習支援センターほか 参加者：22人
- ・兵庫県人権教育研究大会中央大会
平成29年10月1日（日） 加古川南高等学校ほか 参加者：8人
- ・神崎郡人権教育研究協議会指定・福崎町民主化推進協議会指定人権教育実践発表会（公開授業・公開保育、全体会）
平成29年11月7日（火） 田原幼児園、田原小学校 参加者：252人（神崎郡）
- ・西播磨地区人権教育研究協議会 学校・園・所総括大会
平成30年1月31日（水） 相生市立若狭野小学校ほか 参加者：8人
- ・神崎郡民主化推進連絡協議会人権啓発映画会
平成29年6月24日（土） 市川町ひまわりホール 参加者：124人
上映映画：「この世界の片隅に」
- ・部落解放同盟兵庫県連合会主催第32回人権啓発研究集会
平成30年1月11日（木）、12日（金） 神戸国際展示場ほか 参加者：20人

■福崎町男女共同参画基本計画の推進

- ・国の男女共同参画週間にあわせて講演開催
平成29年6月23日（金） 福崎町文化センター 参加者：60人
講演：「男女共同参画ってなあに？」
講師：NPO法人SEAN 理事長 小川 真知子
- ・国の男女共同参画週間にあわせて広報掲載、図書館に男女共同参画に関する図書コーナー設置
- ・女性のためのチャレンジ相談（県事業の活用）
平成29年10月27日（金） サルビア会館 相談者1人
- ・女性のための働き方セミナー（県事業の活用）
平成29年11月16日（木） サルビア会館 参加者3人

■負担金

- ・神崎郡人権教育研究協議会負担金 302,000円

- ・神崎郡人権問題対策協議会負担金 170,000円
- ・神崎郡民主化推進連絡協議会負担金 57,000円
- ・兵庫県人権啓発研究集会参加者負担金 30,000円
- ・（公財）人権教育啓発推進センター年会費 20,000円

■補助金

- ・自治会単位研修会補助金 742,000円
- ・福崎町民主化推進協議会運営補助金 450,000円
- ・神崎郡人権教育研究協議会指定人権教育実践発表会補助金 286,640円

□効果・達成度

自治会単位研修会では、正しく知ることが同和問題をはじめとするさまざまな人権課題の解決につながるということを参加者の方に認識していただくことができました。

また、研究大会・講演会には、学校教員のほか、多くの方に参加いただき、人権意識の高揚を図ることができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H30)
自治会単位研修会への参加者数	1,100	1,167	1,105	1,247	1,065	1,300

□課題・改善

自治会単位研修会への参加者数は平成28年度より減少しました。研修会への参加者が固定化、高齢化しています。自治会長、人権教育推進委員と連携し、地域の実情に応じた研修会を開催します。研修会では、人権問題を知識として学ぶだけでなく、日常生活において態度や行動に現れるような人権感覚の育成が求められます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,429,000	2,317,225				2,317,225

事業名／人権啓発事業

◆事業内容(目的・必要性)

人権意識高揚のため、県の「人権文化をすすめる県民運動」の趣旨に基づき実施する啓発事業で、県の補助事業です。

◆事業の成果

■福崎町人権・青少年健全育成フェスティバル

平成29年12月9日（土） 福崎町エルデホール 参加者：313人

- ・体験発表 小中学生
- ・講演 演題：「LD（学習障害）の挑戦！ 算数0点から新聞記者に」
～苦手は得意でカバー 個性を伸ばして生きる～

講師：フリーライター 大橋 広宣

- ・展示 人権意識高揚活動記録、人権ポスター・人権標語
- ・人権啓発資材の配布（人権標語マグネットクリップ355個）

■人権啓発冊子

- ・「豊かな心がふれあう活力ある福崎町を目指して」作成・全戸配布 6,500部 431,373円
- ・「元気UPじんけん」 成人式配布 200部 20,000円

■啓発DVDの購入

- ・「あした咲く」 64,800円

□効果・達成度

多くの方々の人権意識を高め、人権問題に対する理解を深めることができました。

□課題・改善

多くの方々があらゆる人権問題に関心を持つことができるよう、また、家族間で人権意識を高める会話のきっかけとなるよう、今後も継続してフェスティバルを開催します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,085,000	1,058,475	359,000			699,475

事業名／人権意識高揚（心の教育）活動委託事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総 ◆ 取 組 内 容	インターネット上での危険未然防止(普及啓発、研修会)	
Ⅱ 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総 ◆ 取 組 内 容	人権教育を推進、人権意識の高揚	

◆事業内容(目的・必要性)

児童・生徒一人ひとりが、互いの人権を重んじ、あたたかく支え合い、生きがいと希望を持つとともに子どもたちの自立を促し、「豊かな心と生きる力」を育むことを目的に各種事業を実施しました。

◆事業の成果

子どもたちがその発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得するには、多様な機会の提供、効果的な人権学習が必要です。人権学習（インターネットによる人権侵害についての学習等）を含め、地域交流や郷土愛育成等の事業を展開するための各小中学校への委託事業です。

□効果・達成度

身近な人権課題解決のための学習や地域住民との交流等を通じて、子どもたちの「豊かな心と生きる力」を育むことができました。

□課題・改善

今後も適正に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,620,000	1,614,881				1,614,881

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	9. 辻川界限文化振興費	31,183,000 ^円	27,708,021 ^円	3,474,979 ^円

辻川界限の文化振興及び文化施設の管理・運営に要した経費で、主な事業としては、歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家記念館の運営、三木家住宅、辻川山公園の管理、辻川界限の整備、第38回山桃忌の開催です。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
総◆取組内容	住民組織の育成(辻川界限の観光振興・地域活性化)	
Ⅵ まちの基盤	4 公園・緑地	①公園・緑地の整備・拡充等
総◆取組内容	辻川山周辺全体を観光拠点整備、交流の地域づくり	

事業名／歴史民俗資料館運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

郷土資料(出土品、古文書、民俗資料、行政資料等)を収集保存し一般に公開するため、各種事業を実施しました。

◆事業の成果

■展示活動

開館35年の節目にあたり、館藏品の中から各分野の代表的なもの、特徴的なもの35件を選出した特別展を開催しました。

会期	名称	入館者数	備考
4月8日～5月28日	企画展「神崎郡長 倉本櫨山展」	3,033人	展示点数 43点
10月14日～11月26日	特別展「れきみんなのお宝 35選」 (地方創生推進事業)	1,654人	展示点数 273点

■資料収集

郷土資料を収集しました。平成29年度は、5人の方から民具・文書等297点、1団体から文書1式を寄贈いただきました。

■教育普及活動

- ・ふくさき歴史体験隊 隊員数13人 講師補助員1名

地域の歴史や文化財を活用した活動として、辻川界限ウォークラリーをはじめ、土器づくりや万葉食づくり等を行い、指導者等さまざまな年齢層の方との交流を図ることができました。

- ・連続講座「祝開館35周年 れきみんなのお宝は歴史を語る」(地方創生推進事業)

本講座では、資料館が開館以来収集・保存してきた館蔵資料をとおり、福崎町の歴史・民俗・文化をより深く理解していただく機会を提供しました。

- 入館者数 12,729人(平成28年度13,958人、平成27年度13,768人)

□効果・達成度

年間を通じて、企画展や連続講座、ふくさき歴史体験隊事業等を実施し、幅広い年代層に郷土の

歴史や文化を学ぶ機会を提供することができました。

□課題・改善

これまで蓄積された収蔵資料の保管や整理に継続して取り組み、資料の活用が充実するよう努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,082,000	2,597,319				2,597,319

業名／柳田國男・松岡家記念館管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	④先人の功績の顕彰
総	柳田國男・松岡家記念館リニューアル改修	

◆事業内容(目的・必要性)

日本民俗学の創始者である柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、関連する資料を収集、保存し、柳田國男生家とともに、一般に公開しました。

来館者が快適に利用できるよう老朽化した施設の環境改善に努め、柳田國男や松岡家に関する資料の保全、活用に継続して取り組みました。

◆事業の成果

■資料収集・資料整理

柳田國男・松岡家ゆかりの資料を収集しました。平成29年度は1人の方から柳田國男関係資料1点の寄贈と、1人の方から松岡家資料1点の新規寄託をいただきました。

■松岡映丘画稿補修委託

委託料：170,100円（受託業者：㈱工房レストア）

作品3点 「蓮池」「嵯峨野の月」「王朝絵巻」

■入館者数14,974人（平成28年度15,809人、平成27年度13,222人）

□効果・達成度

開館40年以上を経過した記念館や生家については、日々の施設点検、記録を行い、雨漏りの早期発見、対処等、施設の安全性・利便性改善に努めました。資料補修では、松岡映丘画稿の裏打ち等を行い、資料保全を図りました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H30)
柳田國男・松岡家記念館入館者数	7,221	12,261	13,222	15,809	14,974	8,000→16,000

□課題・改善

老朽化した施設の環境改善、展示を含めた施設リニューアルが必要です。また、資料保全においては、松岡映丘画稿の補修を継続して行い、管理や展示活用の充実に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,361,000	3,809,147			14,580	3,794,567

事業名／柳田國男・松岡家記念館運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	④先人の功績の顕彰
総◆ 取 組 内 容	名誉町民の顕彰	遠野市との交流を促進

◆事業内容(目的・必要性)

柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、各種事業を実施しました。

第38回山桃忌、企画展等を実施しました。第4回柳田國男検定では、上級編の最高得点者に「遠野への旅」を贈りました。教育普及活動では、伊勢大神楽や版画教室を開催しました。

◆事業の成果

■第38回山桃忌

[1日目] 8月5日(土)

「第1部 女性の目から見た柳田國男と民俗学」参加者：196人

内容：山桃忌 式典

「傘踊り」いなみの神崎

基調講演「母の手毬歌を聴く柳田國男」

柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学教授 石井正己

記念講演「リアルタイムの『妹の力』」 池田香代子

シンポジウム「柳田國男と女性」

コーディネーター：石井正己

パネリスト：昔話研究者 野村敬子

元跡見学園女子大学教授 倉石あつ子

女性民俗学研究会代表 刀根卓代

神戸大学大学院人文学研究科研究員 井上舞

[2日目] 8月6日(日)

「第2部 淡路人形浄瑠璃上演」参加者：265人

内容：「人形浄瑠璃」解説 柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学教授 石井正己

人形浄瑠璃上演 南あわじ市 淡路人形座

「戎舞」「人形浄瑠璃レクチャー」「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」

「一谷嫩軍記 須磨浦組討の段」

■第4回柳田國男検定（初級編、中級編、上級編）

実施日：8月6日（日）

受験者数：初級編39人、中級編25人、上級編11人

合格者数：初級編20人、中級編4人、上級編3人

■展示活動

会期	名称	入館者数	備考
4/8～5/28	企画展「松岡映丘画稿展～やまと 絵風景画の美～」	3,408人	展示点数11点
10/7～11/26	「福崎町子どもふるさと展」	2,583人	展示点数71点

■講演会

- ・「柳田國男と女の会—民俗学における女性研究の軌跡と課題—」10月21日（土）

講師：戸邊優美 参加者：13人

■教育普及活動

- ・伊勢大神楽 11月11日（土）出演：加藤菊太夫 参加者：122人

- ・岩田健三郎版画教室 12月10日（日）講師：岩田健三郎 参加者：25人

■第5回福崎町柳田國男ふるさと賞

柳田國男の顕彰を図るとともに、郷土に愛着と誇りを持ってもらうことを目的として、地域の歴史や民俗文化について優れた調査・研究を行った児童・生徒に対して、この賞を贈りました。

- ・小学校低中学年の部

内藤のこ（八千種小学校3年生） 作品名「玉木十ろうべえについて」

- ・小学校高学年の部

上杉このみ（八千種小学校5年生） 作品名「大庄屋三木家の謎にせまる！」

- ・中学校の部

藤田捺未（福崎東中学校1年生） 作品名「福崎町の狛犬について」

■日本民俗学会研究奨励賞の副賞

平成29年度受賞作品「近代日本における出産と産屋 香川県伊吹島の出部屋の存続と閉鎖」伏見裕子

■館報「うぶすな」発行（6,500部）

□効果・達成度

山桃忌、柳田國男検定、企画展、ふるさと賞等、年間を通じて顕彰事業に取り組み、「柳田國男生誕の地 福崎町」を町内外に発信し、松岡五兄弟への理解を深めることができました。

□課題・改善

柳田國男・松岡家の功績を、幅広い世代が再認識できる分かりやすい催しや展示手法を引き続き

研究します。「柳田國男生誕の地」の認知度を高めるため、さらに情報発信を工夫し誘客に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,165,000	2,877,095			39,000	2,838,095

事業名／三木家住宅等管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
総◆	取 組 内 容	三木家住宅の文化交流活動拠点としての活用

◆事業内容(目的・必要性)

平成22年度から進めてきた主屋に関連する保存修理工事の終了により、三木家住宅を活用していくため、主屋部分を展示施設として一般公開を行いました。三木家の歴史や魅力を来館者に伝えるため、公開記念イベントを実施しました。

また、植木の管理や屋内外の清掃等も行い、文化財の維持管理に努めました。

◆事業の成果

■公開記念イベント（地域創生事業）

■三木家住宅主屋公開イベント

実施日	内 容	講 師	参加者
4月8日（土）	三木家主屋公開記念コンサート	ジャズナイト &リエコ	12人
5月28日（日）	三木家住宅建造物見学会	尾瀬耕司	42人
7月15日（土）	三木家de風鈴づくり	尾上利幸 鈴木和満	77人
7月23日（日）	三木家住宅探検～三木家で学ぶ昔の暮らし～	尾瀬耕司	17人
10月28日（土）	三木家住宅建造物見学会（一般用）	尾瀬耕司	15人
11月5日（日）	三木家入門講座	岩井忠彦	29人
11月17日（金） ～18日（土）	三木家 遠野の昔がたり	大平悦子	32人
11月19日（日）	三木家 「つのなす」 工作	福崎切り花 部会	60人

■三木家資料レプリカ作製業務委託

委託料：230,580円（受託業者：榊工房レストア）

資料2点「壺簪詩集」「三木家蔵書目録」

■庭園植木等管理業務委託

委託料：243,000円（受託業者：中塚造園土木）

工 期：平成29年6月28日（水）～平成29年10月30日（月）

■開館日数・入館者数

開館日数 167日 入館者数 6,779人

□効果・達成度

主屋公開イベント、四季に応じた展示、建造物見学会等を実施し、多くの見学者を得て、文化財保護意識を醸成することができました。

□課題・改善

副屋・離れ・蔵等の整備・活用方法について、専門家や関係各課と相談しながら検討を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,755,000	3,276,815				3,276,815

事業名／辻川山公園管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

来訪者が公園を安全・快適に利用できるよう、地元辻川区と共同で辻川山公園周辺の清掃活動を4回実施しました。

◆事業の成果

■地元区との共同清掃活動

第1回：平成29年4月1日（土） 第2回：平成29年5月27日（土）

第3回：平成29年7月22日（土） 第4回：平成29年9月30日（土）

■借地料

福崎町西田原字西廣岡1033番他 390,570円

福崎町西田原字西廣岡1029番他 135,880円

□効果・達成度

辻川山公園周辺及び辻川山の環境美化と安全性向上に努め、良好な施設管理ができました。河童・天狗人気で、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の来訪者がありますが、安全・快適に利用していただきました。

□課題・改善

来訪者にいっそう快適に利用していただけるよう、引き続き良好な施設管理に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,527,000	2,290,164				2,290,164

事業名／辻川界限文化振興事業

◆事業内容(目的・必要性)

辻川界限の活性化のため、文化財の保護及び観光振興に継続して取り組みました。

◆事業の成果

■松岡五兄弟石像及び短歌祭掲示板のモニュメント保険、望郷の丘の建物共済保険に継続加入しました。

□効果・達成度

辻川界隈の観光振興に寄与しました。

□課題・改善

三木家住宅、旧辻川郵便局、辻川山公園等、辻川界隈の整備活用について、引き続き総合的に検討を進める必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
385,000	100,433				100,433

事業名／辻川界隈整備事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
総◆	取 組 内 容	学問成就の道のさらなる整備 (H28年度完成)

◆事業内容(目的・必要性)

「銀の馬車道」周辺地域である辻川地区のまちなみの景観向上及び情報発信を図るため、県のふるさと創生推進事業補助金を活用し、整備しました。

平成29年度は旧辻川郵便局跡地に仮囲いを設置し、三木家東隣接地の南面（銀の馬車道沿い）にラッピング看板を設置しました。

◆事業の成果

■旧辻川郵便局跡地仮囲い設置工事

請負代金：399,600円

請負業者：(株)佐治工務店

工 期：平成30年2月26日(月)～平成30年3月23日(金)

■ラッピング看板設置工事

請負代金：128,520円

請負業者：イナガワ工芸

工 期：平成30年2月28日(水)～平成30年3月30日(金)

□効果・達成度

工事により「銀の馬車道」の美観が高まるとともに、日本遺産に認定された「銀の馬車道」の情報を発信することにより、来訪者も増加傾向となりました。

□課題・改善

引き続き辻川界隈の整備を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
600,000	528,120	264,060			264,060

事業名／地方創生推進事業（辻川界限文化振興）

◆事業内容(目的・必要性)

辻川界限活性化のため、地方創生推進事業補助金を活用し、各種事業を実施しました。三木家住宅資料の保存活用のため、神戸大学大学院人文学研究科との共同研究による民俗資料調査を実施しました。

◆事業の成果

■三木家住宅主屋公開イベント

実施日	内 容	講 師	参加者
4月8日(土)	三木家主屋公開記念コンサート	ジャズサイト &リエコ	12人
5月28日(日)	三木家住宅建造物見学会	尾瀬耕司	42人
7月15日(土)	三木家de風鈴づくり	尾上利幸 鈴木和満	77人
7月23日(日)	三木家住宅探検～三木家で学ぶ昔の暮らし～	尾瀬耕司	17人
10月28日(土)	三木家住宅建造物見学会(一般用)	尾瀬耕司	15人
11月5日(日)	三木家入門講座	岩井忠彦	29人
11月17日(金) ～18日(土)	三木家 遠野の昔がたり	大平悦子	32人
11月19日(日)	三木家 「つのなす」工作	福崎切り花 部会	60人

■歴史民俗資料館 連続講座「祝開館35周年 れきみんなのお宝は歴史を語る」

実施日	内 容 (演題)	講 師	参加者
5月20日(土)	弥生・古墳時代の福崎のお宝	渡辺 昇	25人
9月9日(土)	福崎の歴史資料を訪ねて	藤原昭三	26人
10月21日(土)	柳田國男と女の会 —民俗学における女性研究の軌跡と課題—	戸邊優美	13人
11月11日(土)	近代日本の郡役所	深見貴成	16人
2月17日(土)	地域に根ざした民具の保存と活用	日高真吾	28人

■歴史民俗資料館 特別展 平成29年10月14日～11月26日 「れきみんなのお宝35選」 入場者1,654人

展示点数273点 記念クリアファイル作成(1,100部)

■記念館 中国語リーフレット作成(500部)

■記念館 松岡五兄弟啓発グッズ作成

(トートバック3色600枚・メモ帳600冊・クリアファイル1,000枚)

■記念館 ホームページ多言語化(英語・中国語・韓国語)

□効果・達成度

辻川界隈のシンボリック的存在である三木家住宅の主屋を公開し、イベントを実施することで来訪者が増加しました。松岡五兄弟のグッズの作成や多言語化により、ゆかりの地である辻川界隈の周知を進めることができました。

□課題・改善

引き続き辻川界隈の整備を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,435,000	4,377,907	1,953,610			2,424,297

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	10. 文化財保護費	12,555,000 ^円	12,372,236 ^円	182,764 ^円

文化財保護に要した経費で、主な事業は、指定文化財等の助成、埋蔵文化財発掘調査です。

事業名／文化財保護一般事務費

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	②文化財の保護・活用の推進
◆ 取 組 内 容	文化財調査の実施、成果の公開 収蔵施設の整備	組織や人材の育成(文化財保存・活用)
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
◆ 取 組 内 容	旧辻川郵便局の観光交流拠点として保存整備	
Ⅵ まちの基盤	4 公園・緑地	②緑化の推進
◆ 取 組 内 容	神社仏閣、境内地樹木等緑地の景観保全	

◆事業内容(目的・必要性)

文化財を保存し、活用を図るため、町指定文化財の保存継承事業等への補助金交付や説明看板の整備を行いました。文化財行政について専門的な立場から審議していただくため、文化財審議委員会を開催しました。

福崎町の地域歴史遺産を掘り起こすため、神戸大学大学院人文学研究科との地域連携事業に取り組みました。

◆事業の成果

- 町指定古墳周辺整備補助金：4古墳×10,000円=40,000円
大塚古墳（山崎）・妙徳山古墳（神積寺）・相山古墳（西大貫）・神谷古墳（醫王寺）
- 町指定民俗文化財保存継承事業補助金：6保存会×30,000円=180,000円
浄舞（熊野神社）・浄舞（余田大歳神社）・追儺（神積寺）
かくしほちよじ（鍛冶屋）・法成就講（高橋）・獅子舞（桜）
- 町指定文化財整備事業補助金
木造文殊菩薩坐像 本堂照明設備改修工事 補助金：54,000円（補助事業者：神積寺）
悟真院唐門 防蟻処置 補助金：32,000円（補助事業者：悟真院）
石造宝塔（残欠）石材強化処理 補助金：81,000円（補助事業者：悟真院）
- 町指定文化財等説明看板修理（東新田古墳、悟真院唐門、小國鐵十郎顕彰碑（新設））
- 文化財審議委員会
第1回：平成29年6月30日（金） 第2回：平成30年3月15日（木）

□効果・達成度

町指定文化財保存継承事業等に補助金を交付することで、文化財保護活動の促進を図りました。
神戸大学連携事業では、生誕140年を記念して平成30年度に開催する松岡静雄展に向け、松岡静

雄の資料調査を行い、広報紙で成果を公開しました。また、町民の文化財に対する興味・関心を高めるため、身近にある文化財として民具の調べ方を示した「福崎の民具—知る・調べる—」のリーフレットを作成しました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H30)
文化財の指定件数	43	44	44	44	46	45

□課題・改善

住民に文化財の重要性を認識していただくため、文化財に関する展示活動や広報活動を充実させます。

文化財や郷土資料を保存継承していくため、適切な保存環境を備えた収蔵施設の整備が必要です。

予算額	決算額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,323,000	2,244,029				2,244,029

事業名／埋蔵文化財発掘調査事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	②文化財の保護・活用の推進
◆ 取組内容	文化財調査の実施、成果の公開 収蔵施設の整備	組織や人材の育成(文化財保存・活用)

◆事業内容(目的・必要性)

埋蔵文化財を適切に保護していくため、開発事業との円滑な調整を図り、調査を行いました。

◆事業の成果

埋蔵文化財包蔵地内の民間開発等に伴う試掘調査を9か所、確認調査を15か所で行いました。北野散布地では本調査を実施し、弥生時代の掘立柱建物跡やたて穴住居跡などが見つかりました。田口地区の山林で中世の骨壺が発見されたことから田口トツタニ遺跡を新たに遺跡として登録し、本調査を実施しました。また、福崎駅周辺整備に伴う試掘調査を行いました。

高岡・福田地区ほ場整備事業に伴う分布調査・確認調査・試掘調査を完了しました。その結果をもとに、前田遺跡の本調査を実施しました。

■民間開発等に伴う試掘調査

調 査 名	時代	種類	現状	調 査 期 間	調査面積
寶性院庫裡建て替えに伴う試掘調査	—	—	宅地	平成29年5月15日(半日)	1か所 5㎡
宅地造成工事に伴う西田原字大塚試掘調査	—	—	宅地	平成29年6月12日(1日)	4か所 16㎡

宅地造成工事に伴う西田原 字北角試掘調査	—	—	休耕地	平成29年 7月12日 (1日)	8か所 32㎡
宅地開発事業に伴う西田原 字前畑試掘調査	—	—	休耕地	平成29年 7月18日 (半日)	3か所 12㎡
個人住宅建築工事に伴う南 田原字五合堂試掘調査	—	—	水田	平成29年10月24日 (半日)	1か所 4㎡
太陽光発電設備設置工事に 伴う南田原字山ノ東試掘調 査	—	—	宅地	平成29年12月19日 (半日)	5か所 20㎡
準公民館新築工事に伴う南 田原字西光寺試掘調査	—	—	宅地	平成30年 1月17日 (半日)	2か所 12㎡
福崎駅前整備事業に伴う試 掘調査	—	—	宅地	平成29年 6月19日、12月12日、 平成30年 2月 5日 (3日)	7か所 28㎡
宅地造成工事に伴う八千種 字東垣内試掘調査	—	—	休耕地	平成30年 2月 7日 (半日)	2か所 8㎡

■民間開発等に伴う確認調査

遺 跡 名	時代	種類	現状	調 査 期 間	調査面積
北野散布地第4次 (集合住宅新築工事に伴う 確認調査)	弥生～ 中世	散布地	水田 畑地	平成29年4月12日 (半日)	3か所 12㎡
上大明寺遺跡第3次 (個人住宅新築工事に伴う 確認調査)	弥生	集落跡	休耕地	平成29年6月20日 (半日)	1か所 6㎡
南田原条里遺構第35次、36 次、37次 (個人住宅新築工 事等に伴う確認調査)	その他	その他	宅地	平成29年9月13日 (半日) 平成29年9月26日 (半日) 平成30年3月13日、14日 (2日)	23か所 92㎡
南田原桶川遺跡第6次、7 次、8次、9次 (個人住宅 新築工事等に伴う確認調査)	旧石器 古墳～ 中世	集落跡	水田	平成29年9月29日 (半日) 平成29年10月4日 (半日) 平成29年10月13日 (半日) 平成29年2月5日 (半日)	6か所 24㎡
西田原前田遺跡第3次 (太陽光発電所建設工事に 伴う確認調査)	奈良 中世	散布地	水田	平成29年10月30日 (半日)	4か所 16㎡
清水遺跡第1次、2次 (宅地造成工事に伴う確認 調査)	古墳	散布地	水田	平成29年10月31日 (半日) 平成30年1月10日 (半日)	3か所 12㎡
鍛冶屋遺跡第2次、3次 (個人住宅新築工事に伴う 確認調査)	平安 中世	散布地	宅地	平成29年11月27日 (半日) 平成29年11月7日 (半日)	2か所 8㎡
西田原上野田遺跡第3次 (宅地造成工事に伴う確認 調査)	奈良 中世	散布地	水田	平成29年12月11日 (1日)	5か所 20㎡

■民間開発等に伴う本調査

遺 跡 名	時代	種類	現状	調 査 期 間	調査面積
北野散布地第5次 (集合住宅新築工事に伴う 本調査)	弥生～ 中世	散布地	水田 畑地	平成29年4月25日～28日、 5月11日 (4日半)	250㎡
田口トツタニ遺跡第1次	中世	その他 の墓	山林	平成30年1月24日、26日、 29日、30日 (4日)	23.4㎡

■高岡・福田ほ場整備事業に伴う調査

調 査 名	時代	種類	現状	調 査 期 間	調査面積
高岡・福田地区ほ場整備事 業に伴う分布調査 (北工 区)	—	—	水田 ほか	平成29年4月5日～6月 17日 (8日)	197筆 約80,000㎡
高岡・福田地区ほ場整備事 業に伴う試掘・確認調査 (南工区・北工区) 林谷遺 跡ほか	縄文	散布地	水田 ほか	平成29年9月25日～12月 25日 (23日)	130か所 520㎡
前田遺跡第1次 (高岡・福田地区ほ場整備 事業に伴う本調査)	中世	散布地	水田 ほか	平成30年2月19日～ 3月27日 (26日)	1,136㎡

□効果・達成度

適切に調査を実施し、埋蔵文化財の保護に努めました。

埋蔵文化財包蔵地の可能性がある箇所について、工事立会や分布調査・試掘調査を行うことで、埋蔵文化財の記録保存を行うことができました。

□課題・改善

発掘調査の結果を講座、展示会等で積極的に公開していく必要があります。

未整理の出土遺物が多数残っており、引き続き整理作業を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,232,000	10,128,207	8,302,000			1,826,207

(5) 保健体育費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5. 保健体育費	1. 保健体育総務費	16,991,000 ^円	16,770,640 ^円	220,360 ^円

生涯スポーツ事業の振興、推進に尽力している組織の活動費・助成金等です。その活動により、老若男女を問わず、また多種目において、こころと体の健康づくりとコミュニケーションづくりの場を地域に提供しました。また、スポーツの成績を評価し讃えることで目標を掲げ、だれもが個性や能力を発揮できる環境づくりを進めました。

事業名／保健体育総務一般事務費

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	②指導体制の確立
◆ 取組内容	指導者の育成 指導体制の確立支援	指導者や審判等の資質向上強化・支援
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	③体力づくりの振興
◆ 取組内容	広報活動の充実	子どもの体力向上を目的とした事業の検討・実践
Ⅳ 健康・医療・福祉	1 健康・医療	①健康づくりの推進
◆ 取組内容	住民の自主的な健康づくり活動の支援	

◆事業内容(目的・必要性)

生涯スポーツ全般にわたる事業推進のため、スポーツ推進委員・普及員が中心となり、地域住民対象のスポーツ大会等を企画・運営し、生涯スポーツの普及発展を図りました。近年の高齢化に対応するための日常生活の中に運動を取り入れるための普及活動を行いました。

また、生涯スポーツの振興を図るため、福崎町民または出身者ならびに町内に所在する団体であって、特に競技成績が優秀な個人及び団体に対してスポーツ功績賞を授与しました。

◆事業の成果

■スポーツ推進委員会

年4回開催し、変化する地域住民のニーズに応じた大会の企画や運営方法、健康教室等に関しての審議を行いました。また、スポーツ推進委員の資質・指導力向上及び情報交換等のため研究協議会に出席しました。

■健康推進事業

暮らしの中での運動習慣を推進するために、「家で！職場で！今より10分からだを動かそう！」をテーマに『毎日こつこつ貯筋&からだのびのび運動』の健康ポスターを作成し各戸配布を行いました。

□スポーツ推進委員会

第1回 平成29年4月7日(金)

第2回 平成29年8月8日(火)

第3回 平成29年11月19日(日)

第4回 平成30年1月17日(水)

・中播磨スポーツ推進委員研究協議会

平成29年6月11日(日) 市川町

・兵庫県スポーツ推進委員研究協議会

平成29年10月21日(土)～22日(日) 新温泉町

＊事例発表で『誰もがどこでも楽しく～スポーツの力で心身の健康維持増進を～』をテーマに小都市部門で福崎町の中垣早人委員が発表を行いました。

■スポーツ功績賞

スポーツ競技で優秀な成績を収めた方をスポーツ功績賞審査委員会で審議し、個人16人を表彰しました。

【受賞者一覧】

氏名	所属	内容	成績
中原心弦	福崎小学校 1年生	第3回全日本少年少女空手道選手権大会	極真空手小学1年生男子の部出場
小西風羽	福崎西中学校 2年生	第55回全国空手道選手権大会	中学女子2年生組 手第3位
岡 謙佑	福崎東中学校 2年生	平成29年度全国中学校体育大会 第57回全国中学校水泳競技大会	男子1,500m自由 形出場
渡部海里	福崎西中学校 2年生	第45回リトルシニア日本選手権大会	軟式野球出場
松井与斉	福崎東中学校 3年生	アルインコカップ争奪第25回ヤングリーグ選手権大会	硬式野球 準優勝
豊島悠資	福崎東中学校 3年生	アルインコカップ争奪第25回ヤングリーグ選手権大会	硬式野球 優勝
中島友吾	福崎東中学校 3年生	アルインコカップ争奪第25回ヤングリーグ選手権大会	硬式野球 優勝
小笠原伶奈	福崎東中学校 3年生	第5回全日本ジュニアチャンピオンシップ空手道選手権大会	極真空手中学3年生女子重量の部準優勝
常陰司竜	灘中学校 3年生	平成29年度全国中学校体育大会第48回全国中学校柔道大会	柔道団体戦第3位
多田雄飛	神崎高等学校 2年生	平成29年度全国高等学校総合体育大会自転車競技大会	自転車競技個人ロードレース出場
田原史章	姫路工業高等学校 2年生	平成29年度全国高等学校総合体育大会バレーボール競技大会	バレーボール競技 出場
宮下和実	姫路商業高等学校 2年生	第20回全国高等学校少林寺拳法選抜大会	少林寺拳法女子組 手演武の部第4位
三輪桜子	姫路商業高等学校 2年生	第20回全国高等学校少林寺拳法選抜大会	少林寺拳法女子組 手演武の部第4位
吉田弘道	姫路商業高等学校 3年生	平成29年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会	男子走幅跳第2位
楠田常乃	滝川第二高等学校 3年生	平成28年度全国高等学校ゴルフ選手権春季大会	男子ゴルフ出場
高岡純平	グローリープロダクツ株式会社	天皇賜杯第72回全日本軟式野球大会	軟式野球出場

□効果・達成

スポーツ推進委員の資質向上・生涯スポーツ活動の情報入手等により、福崎町の生涯スポーツ普及発展に大きく成果をあげました。また新しく健康推進事業で健康ポスターを作成し、各戸配布を行うことで日常生活の中に運動を取り入れるための普及活動を推進しました。

スポーツ功績賞の表彰により、多様なスポーツ種目において全国で活躍する選手が増え、他の選手の励みになりました。

□課題・改善

健康分野において、推進委員個々の能力を生かし活動を広めていきます。また、自治会の普及員

と協力し地域における健康増進活動を活発に進めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,608,000	1,525,445				1,525,445

事業名／町体育協会等育成事業

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>	施 策		町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション		④既存団体の育成・組織強化
◆ 取 組 内 容	指導者の確保、後継者の育成(近隣大学連携) 施設開放支援		指導者の資質向上、新たな人材を発掘

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町体育協会・福崎町スポーツ少年団の育成強化のため、財政的な補助を行いました。体育協会では、地域住民に対し、秋まつり協賛事業で子ども向けゲーム(さかなつりゲーム)、グラウンドゴルフ大会を企画・運営しました。指導者育成・確保のため、神戸医療福祉大学健康スポーツコミュニケーション学科と協力し実習場所を提供しました。

◆事業の成果

体育協会が主催する大会・教室等で参加者への負担軽減、また備品購入等の補助を行うことにより、運営が円滑に行われました。また、スポーツ少年団への補助を行い、青少年の体力・競技力向上に成果をあげました。

■平成29年度 福崎町体育協会加盟団体一覧

H30. 3. 31現在

団 体 名	会 長 名	会 員 数 (人)	団 体 名	会 長 名	会 員 数 (人)
ス キ ー 協 会	安井利夫	8	卓 球 協 会	高松繁樹	21
庭 球 協 会	佐伯武彦	17	野 球 協 会	中塚幹男	45
ゲートボール協会	上野昭郎	7	バレーボール協会	松山濫久	25
陸 上 競 技 協 会	岩崎文治	27	水 泳 協 会	三輪和幸	21
少 林 寺 拳 法 協 会	生田久人	25	山 の 会 協 会	楠田道廣	81
柔 道 協 会	難波弘一	32	ソフトボール協会	三輪一朝	266
合 氣 道 協 会	羽室研二	35	グラウンドゴルフ協会	橋本重政	225
ソフトバレーボール協会	米田 泉	55	ゴ ル フ 協 会	北山孝彦	7
剣 道 協 会	大西崇博	24	合 計		921

■平成29年度 福崎町体育協会決算書

歳 入			歳 出		
項 目	金 額 (円)	備 考	項 目	金 額 (円)	備 考
会 費	34,000	加盟協会から @2,000×17	事 業 費	1,814,063	加盟協会助成金 大会賞品等
補 助 金	1,744,000	町補助金	事 務 費	7,070	事務用品他
繰 越 金	211,586	前年度繰越	基 金 費	50,000	50周年記念事 業積立基金
事 業 収 入	33,800	大会参加料			
雑 入	2	利息・戻入	予 備 費	0	
合 計	2,023,388		合 計	1,871,133	

歳入歳出差引額 152,255円(平成30年度へ繰越)

■平成29年度 福崎町スポーツ少年団決算書

歳 入			歳 出		
項 目	金 額 (円)	備 考	項 目	金 額 (円)	備 考
会 費	71,000	加盟団から @1,000×71名	登 録 費	60,700	県登録料他
			事 業 費	75,000	大会補助金
			事 務 費	4,444	郵便料他
補 助 金	80,000	町補助金	会 議 費	860	会議用飲物
繰 越 金	25,373	前年度繰越金	慶 弔 費	0	
雑 入	0	利息	予 備 費	0	
合 計	176,373		合 計	141,004	

歳入歳出差引額 35,369円 (平成30年度へ繰越)

□効果・達成度

競技スポーツのみならず、ニュースポーツを含む17協会と多くのスポーツ種目が活動し、町民のスポーツ活動の活性化に寄与しました。

□課題・改善

子どものスポーツ離れ・指導者不足等が課題となっています。スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブと連携して、スポーツ拠点を増やし、多くの人がスポーツ活動を行うことができるよう努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,824,000	1,824,000				1,824,000

事業名／子ども会運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総◆	取 組 内 容	青少年団体への支援(青少年の自主的な活動を促進)

◆事業内容(目的・必要性)

子どもたちの福祉増進のため、町内子ども会相互の連携と子ども会の自主的な活動の充実を図り、

各種行事に取り組みました。主な行事としては、子どもたちの健全な身体と協調精神の向上を目的として、町球技大会・郡球技大会を実施しました。

また、子どもたちの情操教育の一環として、思考力、判断力、決断力のかん養を図る目的で、郡オセロ大会・町少年少女将棋大会を開催しました。

◆事業の成果

■町球技大会の結果：平成29年7月2日（日） 場所 田原小学校

部門	優勝	準優勝	3位	
ソフトボール	辻川	田尻	馬田	西野
バレーボール	山崎	駅前	福田	田口・長野

優勝、準優勝チームは平成29年7月15日（土）に神河町で開催された神崎郡子ども会球技大会に出場し、ソフトボールの部において辻川子ども会が優勝に輝く活躍を見せました。

■神崎郡オセロ大会：平成29年9月3日（日） 場所：神河町 大河内保健福祉センター

参加者（福崎町からの参加者）

小学校低学年の部	24人
小学校高学年の部	18人

■町少年少女将棋大会：平成29年12月3日（日） 場所：福崎町文化センター

参加者

小学校低学年の部	14人
小学校高学年の部	12人

□効果・達成度

各種行事を通して、子どもたちの身体的・精神的な向上を図るとともに、子ども・保護者ともに地域での交流を促進することができました。

□課題・改善

町の将棋大会の参加者を増やすため、広報活動にいっそう努めます。また、球技大会練習時のケガを少なくするために、さらなる安全教育を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,077,000	1,966,362				1,966,362

1次評価： A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	2.給食運営費	205,391,000 円	205,130,148 円	260,852 円

学校給食のねらいは、毎日を健康でいきいきと生活できるようにするために、食事、運動、休養の調和のとれた生活習慣を身につけることの大切さを伝えることにあります。また、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康増進・体位の向上を図ることはもちろんのこと、正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身につけ、好ましい人間関係を育てるなど多様で豊かな教育的な役割も担っています。

給食センターでは、「福崎町第2次食育推進計画・健康増進計画」に基づき、生涯にわたって健康で充実した生活を送るための基礎を培う健康教育の一環として、地場産物の活用を推進し、学校給食を生きた教材として活用した食育に取り組みました。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	② 学校教育の充実
総	◆ 取組内容	地産地消のさらなる推進、安全安心な学校給食の提供
Ⅱ 教育・文化	2 効率的で効果的な行政運営	③ 事務事業の見直し
行	◆ 取組内容	給食センター業務の民間委託
Ⅴ 産業振興	1 農林業	② 新しい農業経営の展開
総	◆ 取組内容	地産地消の推進(家庭、地域や学校給食)

事業名／給食センター管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

平成29年度においても、各作業場に設置した6台のテレビカメラシステムを活用し、調理現場における安全衛生管理を行いました。また、カメラで記録された調理作業や洗浄作業の様子は、施設見学時や各種団体の試食会の際にテレビ画面で再生し、福崎町の安全安心な給食づくりの実態を広くPRしました。

給食の試食会については、17回(延人数271人)受け入れました。施設見学については、老人会の出前講座2団体を受け入れました。14年が経過した連続式揚物機は、経年劣化も進み修繕部分も増えて、業務に支障をきたすため更新しました。また、平成30年4月からの調理・配送業務の民間委託実施に向け、業者決定のための給食共同調理センター業務委託総合評価審査会を開催しました。

給食費の滞納問題については、滞納整理対策委員会の方針に基づき、関係課職員が情報を共有し、連携して合同徴収を行うことで、効率よく徴収率の向上を図りました。また、教育委員会・学校等関係機関の連携・協力により、現年度給食費の滞納額の減少に努めました。

◆事業の成果

■収入状況

(単位：円)

年度	区分	調定額	収納額	不納欠損額	滞納額	徴収率(%)
29	現年度	101,719,820	101,523,424	0	196,396	99.8

	過年度	1,063,325	167,412	0	895,913	15.7
	計	102,783,145	101,690,836	0	1,092,309	98.9
28	現年度	101,286,986	101,178,610	0	108,376	99.9
	過年度	1,272,756	194,987	122,820	954,949	15.3
	計	102,559,742	101,373,597	122,820	1,063,325	98.8

私立認定こども園から給食事業諸経費納付金（給食にかかる電気代・水道代・消耗品費）として、619,000円収入しました。

■支出状況

平成15年6月から供用開始した、給食センターの厨房機器・設備機械等も耐用年数の経過で消耗部品に不具合が生じ、給食センター管理事業の修繕料を2,970,550円支出しました。また、14年を経過する連続式揚物機の不具合も生じ、6年間リース契約により入替を行いました。

【日本調理機(株)：5,746,464円（内保守料：194,400円）】

■学校給食費 調定額及び収入状況 (H30.5.31現在) (単位:円)

学校または施設名	調定額		収入済額		不納欠損額		収入未済額	
	現年度	過年度	現年度	過年度	現年度	過年度	現年度	過年度
福崎小	21,106,264	294,292	20,948,268	80,000	0	0	157,996	214,292
高岡小	3,720,384	118,976	3,720,384	21,900	0	0	0	97,076
田原小	23,356,208	333,565	23,356,208	5,512	0	0	0	328,053
八千種小	7,735,968	0	7,735,968	0	0	0	0	0
計	55,918,824	746,833	55,760,828	107,412	0	0	157,996	639,421
西中	13,889,812	257,882	13,851,412	60,000	0	0	38,400	197,882
東中	18,733,628	40,538	18,733,628	0	0	0	0	40,538
計	32,623,440	298,420	32,585,040	60,000	0	0	38,400	238,420
福崎幼	2,272,850	11,200	2,272,850	0	0	0	0	11,200
高岡幼	254,475	0	254,475	0	0	0	0	0
田原幼	3,208,344	6,872	3,208,344	0	0	0	0	6,872
八千種幼	1,263,600	0	1,263,600	0	0	0	0	0
計	6,999,269	18,072	6,999,269	0	0	0	0	18,072
給食センター職員	545,057	0	545,057	0	0	0	0	0
私立こども園	5,633,230	0	5,633,230	0	0	0	0	0
計	6,178,287	0	6,178,287	0	0	0	0	0
合計	101,719,820	1,063,325	101,523,424	167,412	0	0	196,396	895,913

□効果・達成度

現年度給食費の徴収率は、平成28年度より0.1%減の99.8%となりましたが、過年度給食費の徴収率は平成28年度より0.4%増の15.7%となりました。また、現年度・過年度合わせて、平成28年度より0.1%徴収率がアップしました。

□課題・改善

今後、給食費の現年度分をできるだけ滞納繰越にしないように早めの対策を講じるとともに、過年度滞納分についても徴収体制の確立・臨戸訪問強化を行い、徴収率の向上につなげていきます。厨房機器等の更新も計画的に実施していきます。また、事務事業の見直しとして、引き続き調理・配送業務における民間委託の実施・運営に向けて取り組んでいきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
25,471,000	25,290,366				25,290,366

事業名／給食センター給食事業

◆事業内容(目的・必要性)

学校給食に使用する食材発注に際しては、産地確認や情報収集をしっかりと行い、厳選した食材で調理し、安全安心な給食の提供に努めました。主に県内産食材を優先して使用し、歳時記に合わせた献立や果物、デザート等から季節を感じてもらえるように工夫しました。特に生活習慣病の予防にも大切な「豆・ごま・海藻・野菜・魚・きのこ類・いも類」を献立に多く取り入れ、「福崎町第2次食育推進計画・健康増進計画」に基づき、安全安心な地域の食材をできるだけ多く給食に取り入れました。また、福崎町の特産物である「もち麦」に親しみ、家庭でも活用してもらえるように、給食においても、もちむぎ麺やもちむぎ精麦を使用した献立を積極的に取り入れました。そうした福崎町の給食をPRするために、毎月発行する給食だより等の中で詳しく紹介し、児童・生徒及びその家庭に伝えたり、町民対象の給食試食会や福崎秋まつりでのパネル展示等を実施して広く町民にもPRしました。

一日平均給食供給人員約2,570人に対して、小学校年間180日、中学校年間177日、認定こども園(1号認定)年間168日、認定こども園(2号・3号認定)年間273日の給食を提供しました。給食延べ人員は、487,577人でした。

■給食センター給食事業での主な支出は、給食原材料費で102,433,151円です。

給食原材料費内訳		(単位:円)
		金 額
副 食 費		64,670,273
米 飯 代		17,190,395
パ ン 代		3,355,453
牛 乳 代		17,217,030
計		102,433,151

■地産地消の取り組み

- ・「福崎町第2次食育推進計画・健康増進計画」の中の「地産地消の推進・食文化の継承」に基づき、給食センターでは、学校給食における地元野菜(米含む)目標地産地消率(重量ベース)を

42%と定め、農林振興課と連携し生産者の協力を得ながら、地元産じゃがいもと玉ねぎを使用した「じゃがいもコロケ」、地元産にんじんを使用した「にんじんゼリー」を開発して給食に提供し、地産地消率アップを図りました。給食における地産地消率は41.6%と平成28年度よりも4.0%増となり、全体の地元野菜の使用量は、294.4kg増となりました。また、7月には「福崎町産夏野菜カレー」、12月には「福崎町産冬野菜シチュー」を実施し、福崎町産の野菜を中心に使用した給食で地産地消をPRしました。

- ・福崎町特産「もち麦」の利用促進については、週1回のパン給食の日には、もちむぎ粉を10%ブレンドした「もちむぎコッペパン」、週4回のご飯給食の日のうち、毎週水曜日には、もちむぎ精麦を8%ブレンドした「もちむぎご飯」を提供しました。また、汁物に「かやくもちむぎ麺」を取り入れる回数を増やしたり、毎年リクエストが多く好評である「冷やしもちむぎ麺給食」を平成29年度も運動会シーズンに実施して、もち麦の使用に努めました。

□効果・達成度

給食にもち麦を積極的に取り入れることで児童・生徒にもち麦に親しみをもってもらうことができ、給食日より等でもち麦の良さを広く情報発信することにより、家庭でももち麦を広く活用してもらえるようPRできました。また、毎月、町のホームページに給食献立表及び給食物資の産地情報を掲載して、食の安全性を啓発しました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H30)
(学校給食)地場産物使用率	11.4%	16.2%	17.7%	16.3%	19.5%	20.0%
(学校給食)地場産物使用率(米含む)	33.2%	38.0%	40.7%	37.6%	41.6%	42.0%

□課題・改善

今後も地元生産者等との連絡を密にし、ほ場巡回の回数を増やし、野菜の収穫時期に合わせた献立計画を作成して、給食に福崎町産の野菜の取り入れをさらに増やす努力をしていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
131,329,000	131,273,482			102,309,836	28,963,646

1次評価： B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	3.町民グラウンド 管理費	30,227,000 ^円	28,905,738 ^円	1,321,262 ^円

町民グラウンドは、町民が生涯を通して健康で充実した生きがいのある生活を送るために、町民の健康づくりとスポーツ活動を行う生涯スポーツの場として利用されました。

事業名／町民第1, 第2グラウンド管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

町民第1, 第2グラウンドを安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■施設修繕工事を行い、スポーツがより快適に活動できる場を提供しました。

- ・第1グラウンドナイター照明灯安定器取替工事 888,840円 (請負業者：福崎電業(株))

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・清掃委託料 175,392円 (請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター)
- ・電気設備管理委託料 116,400円 (請負業者：小國電気設備管理事務所)

□効果・達成度

第1グラウンドでは、照明灯安定器等の取替えを行い、より快適に夜間のスポーツ活動を行える環境を整備しました。第2グラウンドでは、グラウンドゴルフを中心に多くの利用がありました。なお、平成29年度社会体育施設(町民グラウンド、スポーツ公園、体育館)利用者数は、122,156人でした。

□めざそう値

めざそう値・アクションプランKPI	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H30)
社会体育施設利用者数	81,000	102,674	120,038	111,821	122,156	90,000→130,000

※町民グラウンド、スポーツ公園、体育館利用者数

□課題・改善

第1グラウンドは、表層部の真土が雨による流出や飛散により、傷みが目立ちます。また、雨天時には水はけが悪く、使用が制限されることもあるため、利用者がより安全で快適に利用できるよう全面的な土の入れ替え、整備の必要があります。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,234,000	2,863,945			432,100	2,431,845

事業名／スポーツ公園管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

スポーツ公園を安全・快適に利用していただくため、施設修繕・器具修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■スポーツ振興くじ助成金を申請し、テニスコート人工芝改設工事を実施しました。

- ・テニスコート人工芝改設工事 19,152,720円 (請負業者：(株)スポーツテクノ和広)

■施設修繕工事を行い、より快適にスポーツ活動ができる場を提供しました。

- ・植木選定伐採作業費 140,400円 (請負業者：植岡造園)
- ・ゲートボール場(調整池)土砂撤去作業費 278,328円 (請負業者：藤澤工業(株))

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・警備委託料 294,192円 (請負業者：セコム(株)加西営業所)
- ・芝生管理委託料 572,400円 (請負業者：植岡造園)
- ・電気設備管理委託料 129,600円 (請負業者：小國電気設備管理事業所)
- ・清掃委託料(第2体育館) 56,160円 (請負業者：(株)新栄ビルサービス)

□効果・達成度

多くの利用者に活動の場を提供することで、住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成に貢献することができました。

□課題・改善

ゲートボール場が調整池となっているためにゲリラ豪雨や台風時には土砂が流れ込み、維持に負担がかかります。今後のゲートボール場の活用方法及び改修について考える余地があります。ソフトボール場は表層部の真土が雨による流出や飛散により、傷みが目立つため、土の入れ替え、整備の必要があります。テニスコートは、利用者増や風雨の影響から人工芝が傷んでいる状況であったため、安全かつ快適にスポーツ活動ができる環境を整備するため、人工芝改設工事を実施しました。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
23,172,000	22,805,281			12,643,880	10,161,401

事業名／町民第3グラウンド管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	①スポーツ施設等の効率的な管理・運営
総 ◆ 取 組 内 容	多目的グラウンドの設置(H26年度完了)	
Ⅵ まちの基盤	4 公園・緑地	①公園・緑地の整備・拡充等
総 ◆ 取 組 内 容	浄化センターの修景施設を含めての公園化	

◆事業内容(目的・必要性)

平成27年3月に完成した町民第3グラウンド（さるびあドーム、スケートボード場、遊具広場）を安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■施設修繕工事を行い、安全に子どもたちが活動できる場を提供しました。

- ・子ども広場遊具設置工事 299,916円（請負業者：(有)福崎堂運動具店）

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・警備委託料 147,096円（請負業者：セコム(株)加西営業所）
- ・電気設備管理委託料 67,200円（請負業者：小國電気設備管理事務所）
- ・清掃委託料 280,800円（請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター）
- ・グラウンド整備委託料 299,376円（請負業者：楠田設備工業(株)）

□効果・達成度

平成27年3月にさるびあドーム・スケートボード場・遊具広場が完成し、幅広い世代が活動できる複合施設として、多くの利用者にレクリエーション活動の場を提供でき、住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティに貢献できました。

□課題・改善

さるびあドームは風通しが良く、冬季には非常に寒く、活動に支障が出るため、防風対策が必要です。また、ドーム内グラウンドについては、タイヤローラーによる不陸整正を行い、柔らかい地盤を締固めました。また、その後は定期的な散水に加え、スポーツトラクターでの整備に努めています。今後も引き続き効率的な整備方法を研究します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,211,000	2,718,512			1,243,000	1,475,512

1次評価： B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	4.学校施設社会開放費	702,000 ^円	701,130 ^円	870 ^円

生涯スポーツを推進するため、また、町民のスポーツの場を広げるため、学校施設の社会開放を行い、ナイター設備の維持に努めました。

事業名/学校施設社会開放事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総◆取組内容	施設の開放、利用促進	
II 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	④既存団体の育成・組織強化
総◆取組内容	施設開放支援	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民のスポーツ振興を図るため、町内の小・中学校の運動施設（体育館・グラウンド）の積極的な開放を実施しました。

◆事業の成果

■学校施設社会開放 学校別集計表

		福崎小	高岡小	田原小	八千種小	西 中	東 中	計
体 育 館	使用回数(回)	504	336	449	241	177	338	2,045
	使用人数(人)	10,952	5,348	15,303	8,200	3,268	6,443	49,514
	使用料(円)	78,140	20,660	114,930	165,660	133,540	90,600	603,530
グ ラ ン ド	使用回数(回)	292	104	63	306	5	10	780
	使用人数(人)	10,020	2,180	8,406	11,468	1,130	9,760	42,964
	使用料(円)	4,240	0	14,840	120,200	3,180	5,270	147,730

■施設修繕料

- ・八千種小学校グラウンド照明灯ランプ取替工事 58,320円（購入業者：福崎電業㈱）

□効果・達成度

町内外のスポーツクラブやサークル等の団体に対し、学校施設を開放することにより、地域に根付いた身近な生涯スポーツ・生涯学習の活動の場と機会を提供しました。

スポーツクラブ4団体や子ども会のほか、一般の団体が継続的に利用しており、学校施設の開放事業が広く地域住民に浸透しています。このように、多くの団体に活動の場を提供することで、地域住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成にも貢献することができました。

□課題・改善

授業等に支障がないよう、学校とも十分連携をとって、適正な管理に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
702,000	701,130			701,130	

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	5.体育館運営費	9,272,000 ^円	8,536,948 ^円	735,052 ^円

生涯スポーツの拠点として各年代層にあったスポーツを選択できるよう、年間を通じて様々な教室・大会を開催しました。また、キャンプ等を通して青少年の健全育成に努めました。

施設において、より安全で効率的なスポーツ活動の場を提供するために、設備の充実・整備を行いました。

事業名／町民体育館管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
II 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	①スポーツ施設等の効率的な管理・運営
総 ◆ 取 組 内 容	スポーツ施設の充実及び整備	町民体育館の耐震補強(H28年度完了)
II 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	③体力づくりの振興
創 ◆ 取 組 内 容	各種教室及びスポーツ大会の充実	
IV 健康・医療・福祉	1 健康・医療	①健康づくりの推進
総 ◆ 取 組 内 容	職員のスキルアップ	

◆事業内容(目的・必要性)

第1体育館を安全かつ快適に利用していただくため、施設修繕を行いました。また、地域住民の体力向上・健康増進・地域コミュニティ・スポーツ振興を図るため、施設設備の充実と、スポーツ大会・教室等のプログラム向上に努めました。

◆事業の成果

健康増進を目的にスポーツ器具用品の充実に努めました。

- スポーツ振興くじ助成金を申請し、トレッドミル（ランニングマシーン）2台購入しました。

- ・トレッドミル 1,396,764円（請負業者：(有)福崎堂運動具店）

- トレーニング器具4台を新しい機種に変更しました。

- ・チェストプレス、トータルヒップ、アダクション&アブダクション、レッグカール&エクステンションの借上料 1ヶ月32,997円（請負業者：(有)加西平和堂スポーツ）

- トレーニング器具のワイヤー交換 33,480円（請負業者：(有)福崎堂運動具店）

- 施設器具修繕を行い、より快適に施設利用ができる環境を整えました。

- ・第1体育館自動ドア修繕工事 275,400円（請負業者：寺岡オート・ドアシステム(株)）

- ・第1体育館屋内消火栓改修工事 146,880円（請負業者：(株)消防装備）

- ・第1体育館AED部品交換 65,988円（請負業者：(有)松岡医療器）

- ・公用車修繕 64,626円（請負業者：(有)福永モータース）

- 施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・年末清掃委託料 236,952円（請負業者：(株)新栄ビルサービス）

- ・自動ドア保守点検委託料 45,360円（請負業者：寺岡オート・ドアシステム(株)）

・消防点検業務委託料

23,760円（請負業者：㈱消防装備）

＊町民体育館利用人数

（単位：人）

年度	球技室	体育室	卓球室	トレーニング室	第2体育館	計
27年度	13,253	5,753	4,999	11,042	8,139	43,186
28年度	6,831	3,532	3,645	5,154	10,316	29,478
29年度	13,333	6,580	6,832	8,520	6,873	42,138

■各種大会を開催し、町民の健康づくり・コミュニケーションづくりに貢献しました。

大会名	期日	場所	対象	参加
マスターズソフトボール大会	4/16	第1グラウンド	35歳以上の男女。チーム年齢合計が360歳以上で構成	6チーム
町民親善グラウンドゴルフ大会	5/6	第3グラウンド	誰でも可	52チーム
山菜ハイキング	5/20	鉢伏高原	誰でも可	47人
カヌー教室	6/25・7/30	野外活動センター	町内小学4～一般	10人・4人
ふれあいワンデー生活塾	7/15	野外活動センター	町内小学1～3年生	57人
アウトドア生活塾	7/22～23	野外活動センター	町内小学4～6年生	24人
自治会親善ソフトボール大会	8/17～22	第1グラウンド他	自治会でチームを編成	31チーム
地域職域ソフトボール大会	11/19	第1グラウンド他	町内在住在勤者	7チーム
子ども遊びフェスティバル！	1/20	第1体育館	町内幼稚園児以上及び保護者	約200人

■スポーツ講習会を開催し、健康づくりや町民の体力維持増進に努めました。

講習会名	期日	場所	対象	参加者
スケボーチャレンジ	4/15・22 11/25	スケートボード場	町内小学生・保護者	16人 11人

■健康・スポーツ教室を開催し、健康づくりやスポーツ活動の普及に努めました。

教室名	対象	曜日	時間	1期	2期	3期
リフレッシュ体操	一般女性	火曜日	10:00～11:45	32人	32人	32人
貯筋クラブ	65歳以上	水曜日	9:30～11:00	16人	15人	12人
朝のフィットネス教室	誰でも可	水曜日	10:15～11:45	18人	14人	10人
夜のフィットネス教室	誰でも可	木曜日	18:00～19:30	14人	16人	14人
健康ソフトバレー教室	一般女性	金曜日	10:00～11:45	32人	31人	27人
からだのびのび教室	誰でも可	火・金曜日	9:30～10:15	56人		
にこにこスポーツ教室	誰でも可	木曜日	13:30～15:00	11人		
いきいき教室	誰でも可	火曜日	13:30～15:00	17人		
ポールウォーキング教室	誰でも可	木曜日	10:00～11:30	48人		

□効果・達成度

- ・新しいトレーニング器具をリースし、またスポーツ振興くじ助成金によりトレッドミルを購入し、トレーニング設備の充実が図られ、地域住民の健康増進、体力向上に寄与しました。
- ・行事や教室を通じて、健康づくりや地域のコミュニケーションの場を提供することができ、また誰もが気軽に参加できる健康志向の教室を新たに増やし、多くの方の健康維持増進に努めました。
- ・スポーツ推進委員・高齢者・大学生が連携し、子ども達と活動する多世代交流事業は年々参加者が増え成果を上げています。

□課題・改善

- ・行事や教室を催すにあたり、参加者が安全に楽しく参加できるよう運営形態や指導方法等に留意していきます。
- ・参加数が減少している行事を検証し、運営の改善及び新たな行事の展開等検討していく必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,891,000	8,256,548			3,520,730	4,735,818

事業名／地域スポーツ奨励事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域の健康づくり、コミュニケーションづくりを目的に、各自治会でを行う運動会や各種スポーツイベントの運営に係る経費の補助、地域スポーツクラブの活動に係る電気代及びスポーツクラブにおける県主催大会の出場に要する経費の補助を行いました。

◆事業の成果

■スポーツクラブの活動に係る電気代として各学校に支払い、負担を軽減しました。

- ・福崎小学校へ 48,000円
- ・田原小学校へ 48,000円
- ・高岡小学校へ 28,800円
- ・八千種小学校へ 48,000円
- ・福崎東中学校へ 28,800円
- ・福崎西中学校へ 28,800円

■スポーツクラブ連合補助金を交付しました。

- ・スポーツクラブ連合補助金 50,000円

□効果・達成度

スポーツクラブを支援することにより、地元校区で気軽にスポーツをできる環境づくりができました。

□課題・改善

スポーツクラブの会員数が減少傾向にあります。町体育館と連携を深め、地域スポーツの活性化に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
381,000	280,400				280,400

IV 学識経験者の意見

(1) 就学前の子育て支援事業

- ①子ども・子育て支援事業計画について審議され、ワンストップサービス等申請が簡単になったことはよいことである一方で、サービスを作ることと同時に浸透させて効果をあげることが難しいので、広報啓蒙活動を、困っている人に寄り添う形で声かけしていくことが重要だと感じます。次期計画策定につきましては、住民アンケートはもちろん、積極的に述べられた意見のみならず、保育園、幼稚園、役所、病院等で、保育者、保護者のつぶやきや悩みの声を意識的に拾い上げ、活かす意識も必要かと思えます。
- ②導入された子育てワンストップサービスの周知により一層の利用促進をお願いします。
- ③就労事情のある保護者の支援として、町外の私立・公立保育所への適正な予算執行がなされているというのは、配慮のあることと思えます。
- ④子供の安全・安心が確保されることで、子育てに対する安心感が若い保護者層の流出を防ぎ、流入を促進することにもなり、地域の少子高齢化を抑制する大切な事業と考えます。低年齢児の入園増加傾向も住民サービスの浸透による良い傾向と思えます。
- ⑤幼児期からスマホとゲームが生活の楽しみになるようなことは避けたい。子供同士のコミュニケーションであったり、子供達が主体的に楽しめる遊び方だったり、伝統的な遊びであったり、今の時代に不足しがちなことを提供できる場であって欲しいと願います。
- ⑥各認定こども園ごとに入園児童の健康と安全を確保しながら年齢に応じた教育・保育ができていることを評価します。
- ⑦低年齢からの入園が増加しています。保育教諭の増員や待遇改善を早急に望みます。
- ⑧認定こども園の職員が不足しているように聞かすが、対応策はありますか？来年秋には無償化（保育料）をひかえ、それ以上に強化されることを求めます。
- ⑨待機児童がない事は評価します。
- ⑩延長保育や緊急・一時保育事業の実施や、多子世帯対象の拡充、0,1歳児の増加に伴いトイレを低くしたり、シャワーブースを低くする、認定子ども園へのバスの運行等、保育現場と家庭のニーズをしっかりと聞き取り、ニーズに応じた、子どもを産み育てやすい環境づくりが推進されていることは、明日の福崎町を考える時に、非常に重要なことであると思えます。
- ⑪延長保育や一時預かり事業など、保護者のニーズに対応して、子育て支援につながっています。
- ⑫バス利用者は少ないですが、保護者の負担軽減と安全な送迎確保のため、継続してほしいと思えます。
- ⑬子育て支援や低年齢児の保育、学童保育といった事業は今後ますます大きな役割が

期待され、それが福崎町の活性化につながると思います。

- ⑭子育て支援センターが支援の拠点として情報提供や子育て親子の交流促進のために開放されていることは、保護者にとって大変心強いことです。他人からするとささいな悩みに思えたり、特定の方の利用に偏ったりすることもあるかもしれませんが、広く多くの人々の利用をめざすことと合わせて、困っている人を支えることこそが、虐待等の不幸を生むことの大きな対策になるとも考えられます。子育て支援センター、子育て学習センターで、住民と町との小さな信頼関係がこのような形ででき、継続すると、保育対象年齢以降も、子育てについての把握、さまざまなアプローチもできるようになり、子ども家庭センターなどの重要案件になる前の対応ができ、非常に大切なことだと思います。
- ⑮子育て支援事業は、女性の社会進出を支援することでもあり、女性の活躍できる機会を増やし、女性の活力が地域に反映されることにも繋がり、欠かすことのできない制度と考えます。より一層の充実を期待します。
- ⑯子育て支援センター事業は、各地区親子の交流が広がり、また地域の方々同士つながり気軽に話が出来、まさに心のよりどころとなっている証しだと思い、評価します。
- ⑰子育て相談件数が5倍以上に増えたと言うことは、それだけ不安を抱える保護者が多いことを示す一方で、地域住民に頼りにされている存在であるということを示していると考えます。
- ⑱子育て相談件数が増加している事はよい事業だと思います。
- ⑲学童保育料の口座振替や子育てワンストップサービス導入など、サービス向上になり評価します。ホームページや広報を活用して、サービスの周知に努めてください。
- ⑳小学生の放課後の、心の健全育成、安全確保、学習・遊びの環境の確保のため、指導員の方の資質向上に努められています。留守家庭の学童保育、子ども教室事業の充実は、「子育て」の視点からも「教育」の視点からも重要です。
- ㉑学童保育は、開園時間が延長になり、利用人数が増加しています。大学生の有償ボランティアなどを募って、保育内容の充実や指導員の負担軽減をはかつてはどうか。夏場はエアコンのある教室での保育実施など、環境改善にも努めてください。
- ㉒学童保育園の指導員と放課後子ども教室の指導員は資格を持った人で構成されていますか。
- ㉓少子化対策として、出生時にお祝金を出しては？と思いますが、財源がないのでしょうか。

(2) 教育委員会関係事業

- ①最新の教育情勢を共有し、福崎町の教育について俯瞰的・多面的・多角的に展望されることは、非常に重要なことであり、月1回の会議を持たれ、研鑽されることで、

明日の福崎町の教育がより魅力的に輝くものと思います。

- ②今後、不登校が小中学校単位で難しい時には、町全体の適応指導教室運営などが必要になることも考えられるが、不登校指導員の配置で、早期に問題解決されているとのことであり、教職員のストレスチェックも行われ、さまざまな方のご努力で教育全体がうまくまわっていると思われます。大規模改修につきましては、耐震工事、老朽化対応、空調を含め、長寿命化計画策定に向け現状把握を進めておられます。スポーツ等各種大会への支援がなされ、心と体の健康保持に活かされていることと思います。
- ③学校教育においては、子供だけでなく教員の心身の健康も重要な条件なので、教員が気軽に利用できるカウンセリングを望みたい。また、町教委に教員が躊躇無く相談できる専門家チームの窓口を設置してはどうでしょうか？学校の諸問題の抱え込みの防止にも繋がると思います。
- ④何でもかんでも学校に任せるといふ風潮の中で教師達のオーバーワークが深刻な問題になりつつあるのではないかと感じます。SSWやSC、場合によってはスクールロイヤーといったシステムの整備の検討をお願いします。
- ⑤引き続き、不登校児童生徒の問題解決のため、指導員や関係機関との連携をとって、きめ細かい対応に努めてください。
- ⑥不登校児童が増加している中、問題解決に早期対応されている事を評価します。
- ⑦外国語指導助手（ALT）につきましては、認定こども園の英語遊びにも派遣されているようで、児童生徒も含めて、英語に対する興味関心が深まり、なによりです。小学校においては、英語の教科の学習効果もさらに上がるよう、活用方法についての先生方のご意見・ご要望がしっかり実現されることを望みます。
- ⑧ALTの方にもっと学校行事にも参加してもらって、より一層子どもたちが身近に感じられ、積極的に対話できるようになればと思います。
- ⑨ALT 2人体制で、国際教育の充実や地域の国際化に活用された事については、さらに向上される事を望みます。

(3) 学校関係事業

- ①階段踊り場シートや、プールサイドの改修等、現場の必要に応じて適切な補修がなされていました。
- ②新しいコンピュータの借り上げを含めて、教育整備と教育活動の充実を図られ、福崎西中学、福崎東中学ともに、成果をあげられました。清掃委託料やエレベータ点検等が、1校に集中し、他校がゼロなのは、そのような年度配分になっているのかと推察します。
- ③空調設備ができることは、とてもいい事だと思います。災害級の暑さが続くと予想される中、エアコンの整備は必要不可欠であると思う。6月の下旬から暑さが始ま

り、9月に入っても治まらない状況なので、夏休みがあるなどと言っておれないと思います。是非ともエアコンは贅沢品ではなく、必需品であると考えた整備を望みます。と同時に電気代の増加分に対する予算が整備されないと宝の持ち腐れという心配があります。

- ④校舎の老朽化対策や不良箇所の修繕が速やかに行われていることは良いことだと思いますが、その反面、全ての修繕ができているとはいえません。危険箇所、不良箇所の修繕・整備をできるだけ早く実施して、安心して学校生活が送れるように努めてください。
- ⑤施設修繕も速やかにされており、教育環境が整っている事に評価します。自然学校での事件で、精神面で問題は残らないように指導を継続してください。
- ⑥自然学校、芋植え、田植え、もち麦種まき等の体験学習では、教育環境を充実させ、豊かな感性や社会性を育む活動に取り組みられました。また、修繕関係では、緊急のものにつきましては完了されたとのこと。各小学校の要望を精査し、また、予想外の災害も想定して、安全に登下校、学習ができるよう、計画的な補修事業を期待します。
- ⑦要保護・準要保護生徒の扶助に要した経費は大きいですが、適切な吟味がなされて合理的に配慮されたものと推察します。
- ⑧福崎小、田原小学校の特別支援学級在級の1年生児童が、多学年、他校に比べて、非常に多い数字になっていることも合わせて、福崎小の教材備品、田原小、八千種小の一般備品の充実が必要であったかと推察します。
- ⑨共に学び、共に育つ環境の中で、障がいに応じた合理的配慮がなされ、まわりの子どもたちもユニバーサルでインクルーシブな感覚を身につけられるよう、特別支援教育全体が開かれた教育となるよう願います。
- ⑩福崎西中学の2学級、東中学の3学級に対して、特別支援教育の配慮がなされています。より一層の小中連携の中で、課題・特性をもつ児童・生徒と保護者が安心して成長し、まわりの子ども達の心が成長できること、また、中高連携の中で、個別の支援計画も活かされ、長い目で見て、支援の必要な子ども達が、個性を伸ばし、福崎の町で皆が生きる準備がなされていくことを願います。
- ⑪特別支援学級の児童生徒の教育支援のため、個々に応じた指導など、さらなる教職員の資質向上を望みます。
- ⑫ノー部活動デーを作り、児童、教員も心身ともリフレッシュするのでは？と思います。

(4) 給食センター事業

- ①給食については、各地でさまざまな問題が起きています。一度、何かが起きると本当に大変なので、常日頃から念入りな連絡、点検を行い、安全で栄養豊かでおいし

い給食提供を続けていただければと思います。

- ②幼・小・中の給食事業が行われていることは、食育の面や子供の健康維持の面からも大変良いことであると考えます。また地産地消で「もち麦」の利用も良いことだと思ふ。
- ③調理員の民間委託も今日では当然のことと思います。衛生管理に支障が出ない体制をお願いします。
- ④栄養面だけではなく、デザート等で給食の楽しさを増やして欲しいと思う。子ども達の学校に行きたいという思いを大きくするような給食を提供してください。
- ⑤調理作業や洗浄作業の様子が可視化され、安全、安心な給食づくりの実態を把握することができています。試食会や施設見学を通して、町民にPRできています。
- ⑥今後も給食費の徴収率が向上するよう努めてください。
- ⑦献立に工夫が見られ、地産地消率が上がっています。また、もち麦の利用促進や家庭での活用などもPRできています。
- ⑧異物混入に関して、引き続き、注意を払ってほしいと思います。

(5) 社会教育事業

- ①人権教育振興事業につきましては、自治会での研修会参加が固定化、高齢化しているとの課題が示されていましたが、ノルマで参加しなければならない意識を越え、改善案にもあったように、単なる知識でなく、実際の問題解決に役立つ形骸化しないものが求められます。
- ②啓発事業も中学生の体験発表等工夫されたもののようで、素晴らしい取り組みと思います。学校教育と連携され、若いエネルギーを活かして、地域の大人も子どもも、より一層豊かであたたかな心が育まれ、人生経験者が安心できるよう、バトンが渡されていくことを願います。
- ③いじめ防止対策推進法を受けて兵庫県のいじめ対応マニュアルも改訂されました。いじめの定義がしっかりと理解されていない状況にあると感じます。学校だけでは無く、人権教育の一環として、大人にもいじめの定義の理解を徹底させることが大切と考えます。
- ④自治会単位の青少年健全育成研修会では、参加人数が各種団体などに固定化されつつある。もっと多くの住民に意識を高めてもらいたい。
- ⑤広報誌で小中学生の人権作文や絵、標語が掲載されていることは、住民が人権意識を高めるいい企画だと思います。
- ⑥インターネット上による危険行為、人権侵害などを防止する啓発活動の取組を強化してほしい。
- ⑦人権フェスティバルにおける講師先生の講演は、大変よかったと聞きました。
- ⑧5つの自主的なグループが育成され、福崎町の地域づくりがボランティアの手で進

められていることに好感が持てます。

- ⑨地域ボランティアの協力で学校支援活動や教育支援活動が行われています。ボランティアの高齢化や人材確保は今後も課題です。参加が増えるよう、制度の周知や働きかけをお願いしたい。
- ⑩サマースクール、ウィンタースクールの教育支援活動はとても評価したいです。

(6) 芸術・文化事業

- ①文化功績賞につきましても、スポーツと同様、小・中・高・大（神戸医療福祉大学及び老人大学）・社会人に、励ましとなるよう、情報を集め、今以上に表彰できればよいかと思いました。
- ②エルデホールにつきましては、地域振興の拠点として、住民企画や自主的運用、スタッフの高度な水準の文化活動がなされ、集客も安定して伸びているようで、喜ばしいことです。町に住んでいる、もしくは勤めているメリットの多い参加費の工夫（エルデ会員のメリット補強、ポイントカード）などで、より一層のリピーター増の活用を願います。
- ③エルデホールは駅からのアクセスも良く、利用しやすいものと考えます。このたび音響設備が更新されたということで、今後も利用させていただきたいと思います。
- ④地域文化の活動の拠点として、施設の維持、補修がされ、利用者の快適性が向上しました。
- ⑤コンサートによく参加しているが、好評です。
- ⑥昨年度は比較的安定した集客ができた。今後も幅広い世代に楽しんでもらえるような企画を提供してください。
- ⑦文化センターを使って吹奏楽等の文化的活動を小中高生に体験させることは、できないのでしょうか？福崎在住の専門的指導者による指導で普段の部活動とは違った体験ができたり、新たに興味や関心を持つ児童・生徒が増やせたらと考えます。
- ⑧老人大学、セミナー事業の受講者が横ばいか減少傾向です。魅力的な講座が増えたらいいと思います。
- ⑨老人大学の一般教養講座、サルビアセミナーの事業は、とても素晴らしい講師先生なのに、受講者が少ないので残念に思います。もっと増員するには、どうすればいいのでしょうか？
- ⑩幅広い年齢層が楽しめる文化事業を提供して欲しい。
- ⑪各施設共、老朽化が目立ちます。緊急を要する箇所は早急に修繕して、安全性や利便性の向上を検討してください。

(7) 図書館事業

- ①町民の読書の機会を増やす素晴らしい施設だと思います。中高生の利用促進のために

- も自習コーナーの整備は有効なものと思います。ネット社会と言われる今日において、読書の楽しさを少しでも多くの住民に経験させられるように頑張ってください。
- ②福崎町立図書館読書ノートの定着や、図書館見学により、小学生の利用が増えていることは喜ばしいです。
 - ③図書館のイベントの参加者が少ないのが残念ですが、方法を考えてみるのもいいのでは？と思います。

(8) 文化財事業

- ①文化財保護と活用のため、神戸大学大学院との地域連携事業等で福崎町の地域歴史遺産の掘り起こしに取り組みられました。辻川界限を含めて、さまざまな調査事業の成果が、一般市民及び、旅行者、学生にも還元され、さまざまな年代に向けてアウトプットされて、地域が活性化することを望みます。
- ②柳田國男の生家・松岡家記念館・三木家住宅整備は福崎町の宝として媚びることなく運営してもらいたい。しかし、そのためにも若者を引き付け、その価値を理解させる一層の工夫が必要と考えます。妖怪に頼ることのないPRを期待したいと思います。
- ③民俗学は柳田國男の遺産に頼るだけでは無く、新しい切り口での「民俗学」の可能性を若者（大学・高校）との連携で探して欲しいと思います。
- ④整備された三木家の住宅を利用したイベントの実施により、その価値を一人でも多くの人に知らせて欲しいと思います。
- ⑤柳田國男、松岡家の功績を幅広い世代にわかりやすく伝える催しや展示など、引き続き研究してください。
- ⑥三木家住宅の主屋部分を公開、記念イベントを実施し、来訪者が増加しました。松岡五兄弟グッズの作成や、多言語化など、親しみやすい試みで周知ができています。
- ⑦銀の馬車道と相まって、辻川界限の活性化ができていることを評価します。引き続き、環境美化や整備、安全向上に努めてください。
- ⑧発掘調査状況や結果を積極的に公開して欲しいです。
- ⑨辻川界限には、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の来訪者が安全、快適に利用された事に評価します。

(9) 社会体育事業

- ①福崎町の生涯スポーツ普及発展のため、スポーツ功績賞の表彰は励みとなり、すばらしいと思います。小・中・高・社会人の表彰があるので、大学でも成果があればと思いました。
- ②学校施設社会開放事業は、資源及び既存施設の活用と地域コミュニティーの育成にも貢献し、また、開かれた学校として、関心を持って町民が学校と関わる一助とも

なり、メリットがたくさんあります。適切な支援がなされながら、有効利用できる関係づくりを続けられることを期待します。

- ③学校施設を開放することで、生涯スポーツ、生涯学習の活動の場を提供しています。施設や備品に支障がでないよう管理を強化してください。
- ④学校施設の開放により、生涯スポーツ、生涯学習の活動の場となり、住民の体力向上、増進に貢献された事を評価します。
- ⑤トレーニング器具設備の充実で、利用者も増加しているのは、体力向上に寄与されていると思います。
- ⑥中学生や高校生の部活動を支援する場として、そして、トレーニング機器の整備だけではなく、トレーナーやコーチによる専門的な指導も検討して欲しい。例えば、ノ一部活デーとリンクさせた利用を図ることで、生徒の部活漬けの解消にも効果をあげられるし、異なる指導者の指導を受けることの効果も大きいと思われます。
- ⑦生涯スポーツ事業の推進は高齢化する社会に欠かすことのできないものと考えます。気軽にスポーツに親しみ、体を動かせる施設の存在は大切であると思います。
- ⑧青少年野外活動センターの利用者がもっと増えればと思います。
- ⑨野外センターの冬季の利用者数が少ないのであれば、期間閉鎖も検討して、他の季節で、立地を生かし、集客が上がるような活動や企画を提供してはどうか。
- ⑩健康ポスターを各戸に配布し、日常生活の中に運動を取り入れる普及活動を推進したことは評価します。
- ⑪雨などによりグラウンドの整備、維持が大変ですが、安全、快適に利用するために、点検、修繕を今後もお願いします。
- ⑫スポーツクラブの会員数が減少傾向にある。指導者の確保など難しい面もあるが、種目や日程など検討して、地域スポーツの活性化に努めてください。
- ⑬スポーツを通して、心身共に健康に役立っている事が実感できます。
- ⑭どの施設も充実しており、利用者も多いのは、町民の健康につながっていると思います。

平成31年1月

福崎町教育委員会事務事業評価委員（敬称略）

神戸医療福祉大学准教授	野本玲子
兵庫県立福崎高等学校長	岡野敦
主任児童委員	岡本真紀子
住民代表	松岡隆子

V 參考資料

平成29年度 福崎町教育の努力目標

平成29年（2017年）4月 福崎町教育委員会

<基本方針及び長期目標>

「大地に根を張り、幹を太らせ、枝を広げ、大きく伸び行く福崎の教育」

～町民すべてがかかわる福崎町の教育をめざして～

<平成29年度重点目標>

1 就学前保育・教育の充実に努める。

- 1) 「福崎町子ども・子育て支援事業計画」に基づき子ども・子育て支援事業の取組を進めるとともに、5年計画の中間年として必要に応じ見直しを行う。
- 2) 町内の公立認定こども園4園及び私立認定こども園2園において、多様化する保育ニーズに対応するとともに、3歳児からの就学前教育を充実させ、5歳児において新たに英語遊びを取り入れる。
- 3) 子育て支援センター・西部子育て学習センター・東部子育て学習センターの3ヶ所の子育て支援施設が連携し、さまざまな事業や子育てに関する情報提供、相談業務を行い、子育て支援機能の充実に努める。
- 4) 外遊び、群れ遊びなどで遊びの創意工夫ができ、豊かな感性や思いやりの心を育てる快適な環境づくりに努める。
- 5) 集団生活や話を集中して聞けるなどの社会性や基本的な生活習慣を育てる。
- 6) 興味・関心、意欲・態度、判断力・表現力など、後伸びする力をつける。
- 7) 発達障害の早期発見・早期療育を目的に、母子保健事業の各種健診や相談事業との連携を強化するとともに、発達障害児が適切な支援を継続的に受けられるよう、専門相談機関や認定こども園、学校の特別支援教育との連携を図るなど療育支援体制の整備・充実に努める。
- 8) 認定こども園の5歳児と小学校との交流を進め、小1プロブレム解消に努める。

2 学校教育の充実に努める。

- 1) 人間性や基本的な生活習慣の向上に努める。
 - ① 「自他の生命」を尊厳し、共生社会を共により良く生きていく力を養う。
 - ② 生活習慣（起床時間、夕食時間、就寝時間）の確立を進める。
 - ③ 「ひびき合う、あいさつ交わし、ささえ合い」、「早寝、早起き、朝ごはん」、「共に学び、共に伸び行く福崎っ子」など、スローガンの活用で町ぐるみの取組を展開する。
- 2) 確かな学力＝「生きる力」と捉え、「知育」「徳育」「体育」「食育」を推進する。
 - ① 学習習慣と意欲・集中力を学校・家庭で共に協力して育て、学力向上に努める。
 - ア) 学力向上プランを実践し、基礎学力の定着と向上に努める。
 - イ) 小中の交流学习を推進し、緊密な連携により、校種間の円滑な接続を図る。
 - ウ) 「福咲学力アップタイム」を継続し、反復学習による基礎・応用力をさらに高める。
 - エ) 学力向上研究会で取りまとめた学力向上に向けた取り組みを各小中学校で実践する。
 - オ) 朝読書や家読、「フクちゃん読書の日」を推進し、読書習慣を向上させる。
 - ② 地域の歴史や文化財について学習する機会を増やし、「ふるさと福崎」についての興味・関心を高め、「柳田國男ふるさと賞」へと繋げる。
 - ③ 町立図書館、青少年野外活動センター、大庄屋三木家住宅、歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家記念館など、社会教育施設との連携を図り、生涯を通じて自ら学ぼうとする意欲や関心を高める学習活動に努める。

- 3) 人間的なふれあいに基づく生徒指導に努める。
- ① 校長のリーダーシップのもと、全教職員の共通理解を図り、協働実践で指導に当たる。
 - ② 福崎町「健全な子どもの育成5つの方針」を周知徹底する。
 - ③ 「いじめ防止マニュアル」の実践と体罰厳禁で教職員と児童生徒の人間的なふれあいに基づく生徒指導に努め、児童生徒間では、「互いに支え合う仲間づくり・学級づくり」など好ましい人間関係を築き、社会のルールやマナーを身につけるなどの社会性を育てる指導に努める。
 - ④ 教育相談体制の充実を図る。
教職員のカウンセリングマインド研修や不登校指導員、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーなどの配置で、児童生徒の悩み等を受け止める相談体制の充実に努める。
 - ⑤ ブロウクン・ウインドウ論による早期発見・早期対応に努める。
ア) いじめはどの子どもにも、どの学校にも起こる、という認識のもとで、早期発見し、児童・生徒の力を活用しつつ早期対応・解消に努める。
イ) 不登校・不登校傾向に対しては、保護者や関係機関との連携を密にしながら、社会的自立に向けた早期対応に努める。
ウ) 問題行動に対しては、その背景にも目を向けながら即対応し、継続的に指導を続ける。
また、「ダメなことはダメ」というゼロ・トレランス式指導も堅持する。
 - ⑥ 小1プロブレム・中1ギャップの解消に努める。
認定こども園と小学校、小学校と中学校の連携を深める体験入学などの交流活動を促進する。
- 4) 感動・感激、実感・体感などの体験活動の充実に努める。
- ① 学校行事や部活動だけでなく、地域の祭事、家事手伝い、ボランティア活動などへの参加を勧め、充実感・達成感を味わう体験活動を進める。
 - ② 発達段階に応じた夢を持ち、夢に向かう姿勢を育てる指導に努める。
- 5) いのちの教育の充実に努める。
思春期支援教室、介護体験、乳幼児保育、小動物飼育、里山散策、花栽培などで、人間と自然を愛し、命あるものを慈しむ心を持ち、命のかけがえのなさを実感できる人づくりを進める。
- 6) 人権教育の充実に努める。
- ① 同和問題をはじめ、女性、子ども、障害のある人、高齢者、外国人、いじめ、虐待、不登校、DV、セクハラなど人権にかかわる今日的な課題の解決に努める。
 - ② 不要な携帯電話・ゲーム機の使用・ブログや掲示板への誹謗中傷する書込みなど、情報モラルに関する指導に努め、人を傷つけたり犯罪に巻き込まれたりしないように周知させる。
 - ③ 人権フェスティバルを継続開催し、すべての生活に人権意識が行き渡る人権文化の創造に努める。
 - ④ 平成27年度に策定した「福崎町男女共同参画基本計画」に基づく取組により、男性と女性が互いに人権を尊重し、責任をわかちあいつつ個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に努める。
- 7) 特別支援教育の充実に努める。
- ① 一人一人の教育的ニーズに応じた個別の教育支援計画により一貫した教育が行える指導体制の整備に努める。
 - ② *インクルーシブ教育システムを推進するとともに、通常の学級に在籍する発達障害のある、または、その傾向のある児童生徒についても同様の指導体制を整える。
 - ③ 学習支援員、介助員等を配置し、支援を要する児童生徒の学習面・生活面の支援に努める。

*障害のある者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするという目的のもと、障害のある者とない者が共に学ぶ仕組み。

- 8) 食育を推進する。
 - ① 「第2次福崎町食育推進計画」に基づき取組を進める。
 - ② 生涯を通じた健全な食生活の実現、健康の確保、食文化の継承等が図れるよう、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を育てる学習を進める。
 - ③ 「早寝、早起き、朝ごはん」を奨め、朝ごはんの欠食をなくす取組を進める。
 - ④ 「地産地消」、「不時不食」(旬の食材)、「もちむぎ」などの地元特産物食材利用に努める。
 - ⑤ 給食費滞納の解消に努める。
 - ⑥ 学校だよりや食育通信、PTA会報等で食育の啓発を図る。
- 9) 学童保育の拠点の充実、活動環境の改善や指導員の資質向上を図る。
西部学童保育園、東部学童保育園の2園において、充実したきめ細かな指導を推進する。
- 10) 建設後30年を超えた学校施設の整備に向け、学校施設長寿命化計画の調査業務を実施し、施設老朽化の実態を把握する。
- 11) 学校業務改善事業を推進する。
 - ① 教職員が時間的・精神的ゆとりを持って児童生徒と向き合うことで、教育活動のさらなる充実を図ることができるよう、兵庫県「教職員の勤務の適正化新対策プラン」(平成25年2月策定)に基づき、週1回以上の「教職員の定時退勤日」及び月2回以上の「ノー部活デー」について、教職員の共通理解のもと、町教委・学校をあげて完全実施に取り組む。
 - ② グループウェアを利用して、職員朝礼のペーパーレス化、簡素化を図る。
 - ③ 通知表、指導要録の電子化や校務支援ソフトを導入し、業務の効率化を図る。

3 家庭の教育力を高める。

- 1) 家庭教育学級の開設(認定こども園・小中学校)
 - ① 子どもの人間形成の基盤は「家庭」であり、研修会等により保護者の子育て支援を行う。
 - ② 子育てについての親の抱える問題や社会的に学ぶ必要のある課題に対応した、学習会や講演会の開催を実施する。
 - ③ 保護者の奉仕活動やスポーツ大会を開催し、連帯感の育成や子育て情報の共有に努める。
- 2) ゲームなどのバーチャルリアリティ体験を減らし、ノーゲームデー、ノーテレビデーの取組を進め、家事手伝いの習慣化を図る。
- 3) 可能な限り、家族団らんの食事、特に夕食における団らんの大切さを啓発する。
- 4) 生活習慣(起床時間、夕食時間、就寝時間)や家庭学習時間の確保など、自学自習習慣の確立を保護者の協力を求めて進める。
- 5) 大人の規範意識の向上を図る「大人が変われば、子どもが変わる」取組を進める。

4 地域の教育力を高める。

- 1) 「人は環境をつくり、環境は人をつくる」と言われる中、すべての地域住民が子どもたちの健全育成にかかわる取組を進める。
 - ① 研修会、講演会等により、地域住民の青少年健全育成意識を高める。
 - ② 啓発リーフレットの作成や広報車等を活用した啓発活動により「地域の子どもは地域で育てる」環境づくりに努める。
 - ③ 子ども会活動の推進により各地域で異年齢交流を進め、子どもたちとふれあう取組を推進し、社会性を育てる。
- 2) 各種団体に協力を求め、健全育成地域づくりに努める。
 - ① 青少年補導委員会やPTCAの活動を支援する。
 - ② 地域教育推進委員会(県民交流広場)の活動を支援するとともに、委員会相互の連携を図る。
- 3) 自治会研修会の活性化を図る。

地域の活性化を図るため、人権・青少年健全育成研修を実施する。そこでは、地域の身近な課題を取り上げ、参加・能動型の研修会にし、住民の興味・関心を喚起する。

4) 学校支援地域本部事業の充実を図る。

- ① 地域の人材を発掘し、地域の教育力を学校教育に生かす取組を進める。
- ② 学校支援者が、児童生徒と喜びを分かち合い、自らの生きがいにつながる活動を創造する。
- ③ 土曜教育支援体制構築事業を利用し、英語を中心とした小学校土曜日教室を校区毎に開講する。

5 いつでも、どこでも、だれでも学びたいことが学べる生涯学習の充実に努める。

1) 2人の名誉町民(柳田國男・吉識雅夫)を顕彰し、郷土への愛着と誇りを持つ子どもを育てる。

- ① 地域の歴史や文化をテーマに優れた研究を行った児童生徒に対し、「柳田國男ふるさと賞」を贈る。子どもたちが、氏の功績や郷土の歴史を再認識する取組を進める。
- ② 柳田國男ゆかりの岩手県遠野市との友好都市交流事業として、児童生徒の交流研修の平成30年度実施に向け、現地視察を行う。
- ③ 子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めるために、自然科学分野で優れた研究、観察、製作を行った児童生徒に対し、福崎町「吉識雅夫科学賞」を贈るとともに、広く町民に氏の顕彰を図るため、遺族から寄贈された遺品の活用に努める。

2) 芸術・文化活動の推進に努める。

- ① 図書館では、住民の自主的な学習拠点として、蔵書の充実に努めるとともに、快適、安全な利用しやすい図書館を目指す。
- ② 「福崎町子どもの読書活動推進計画」に基づき子どもの読書習慣が身につくよう、毎月29日を『フクちゃん読書の日』として、学校と連携し各種事業を展開するとともに、10年計画の中間年としてアンケート調査を実施し、必要に応じ見直しを行う。
- ③ 町内小中学生へ配布している「読書ノート」に読書記録を残すことで、読書への関心を高め、楽しんで読書をする環境作りに努める。また、町内の利用者を増やすために大人や中高生向け行事を実施し図書館来館のきっかけ作りをする。
- ④ 図書館応援隊を支援し、特色ある図書館活動を推進する。
- ⑤ 図書館に自習できるスペースを作り、新しい利用方法を試みる。
- ⑥ エルデホールの自主事業は、地域住民の要望に沿ったもの、若者層をターゲットにしたものなど、それぞれのテーマに分け実施する。友の会制度の啓発に努め、より多くの方に自主事業に足を運んでいただくよう情報発信をおこなう。また、住民が自ら企画運営できる住民企画事業の実施や住民が参加できるような企画づくりに努める。

3) 地域の歴史文化遺産の掘り起こしに努める。

- ① 歴史民俗資料館は、開館35周年の節目の年にあたり、郷土の歴史・文化に関する資料収集・保存・展示に工夫を加え、より深く継続的に活動できるよう、柳田國男・松岡家記念館と連携し、一体の運営に努める。また、記念特別展「れきみんなのお宝35選」や、連続講座では、『祝開館35周年 れきみんなのお宝は歴史を語る』を開催し、記念の年をふりかえる。また、記念館では、松岡静夫生誕140年に向けた資料調査を実施し、松岡五兄弟の顕彰をいっそう進める。
- ② 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターと共同研究を引き続き実施し、地域の歴史遺産掘り起こしについて取り組む。
- ③ 「文化財フォーラム」を開催し、講演会や事例報告を通じて、地域の歴史文化遺産を未来へ伝えるための普及啓発を行う。

4) 柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館等で形成される文化ゾーンを軸とした文化財の保護・活用の推進に努める。

- ① 4回目を迎える「柳田國男検定」は、初級・中級・上級試験を実施する。検定を通じて、柳田國男の功績を知り、理解を深めていただく。
 - ② 第38回山桃忌は、「女性の中から見た柳田國男」をテーマにシンポジウム・淡路人形浄瑠璃をエルデホールにて実施する。
 - ③ 地方創生推進交付金を活用し、大庄屋三木家住宅では主屋の公開記念イベント、資料整理・展示公開を実施する。柳田國男記念館では、松岡五兄弟啓発グッズ制作、パンフレット・ホームページの多言語化を実施する。
 - ④ 柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館、大庄屋三木家住宅が住民に愛され親しみのある施設となるよう各種事業に取り組む。
 - ⑤ 辻川山周辺は、町民の憩いの場として住民が気軽に利用できるよう、整備、広報に努める。
 - ⑥ 地域の先祖の営みを紹介するため、遺跡から読み取れる、当時の生活の紹介や発掘された出土品を展示するなど住民に埋蔵文化財への関心を高める。
- 5) 社会体育、野外活動などのスポーツ・レクリエーション活動の環境づくりに努める。
- ① 第一体育館では、老朽化したトレーニング室の器具更新を行う。スポーツ公園では、テニスコート2面の改修工事をおこない利用者の安全に努める。また、利用者の多いさるびあドーム横の遊具広場に、ロッキング遊具2台を増設する。
 - ② スポーツ指導体制の確立、普及活動の充実、既存団体の育成・発展に努める。
 - ③ 総合型地域スポーツクラブのサポートに努める。
 - ④ 各種健康スポーツ教室・大会等の充実に努め、町民の体力向上を図る。
 - ⑤ 自然景観が優れた野外活動センターを住民に周知、利用を促す広報に努める。
- 6) 参加しやすく魅力ある公民館活動の運営に努める。
- ① 学習や活動を通じて人と人との交流を深めるとともに、学習成果の発表で生き甲斐を高める。
 - ② 町民の要望に応える多様な学習機会を提供し、各種講座、教室等の内容の充実に努める。
 - ③ 若年世代の参加を図るよう努める。

6 開かれた教育委員会の推進に努める。

- 1) 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い平成27年度に設置した総合教育会議等で、町長部局との連携を強めよりよい教育行政の推進を図る。
- 2) 所管施設の現状を認識するために、定期的に所属長との面談や現場視察をする。
- 3) 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく「事務事業点検評価」を引き続き実施、公表し、住民から広く意見を求めるように努める。
- 4) 新教育委員会制度に関する研修・研鑽をさらに深め「不易」「流行」を見極める。

福崎町教育委員会事務事業評価委員設置要綱

(目的)

第1条 福崎町教育委員会は、効果的な教育行政の推進を図ると共に、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、その結果の報告書を議会に提出し、公表するものとする。なお、点検・評価を行う際、学識経験者の知見の活用を図るため、福崎町教育委員会事務事業評価委員（以下「評価委員」という。）を置く。

(役割)

第2条 評価委員は、教育長の求めに応じ、教育委員会事務事業について意見を述べるものとする。

(定数)

第3条 評価委員の数は、3名程度とする。

(任期)

第4条 評価委員の任期は、1年とする。初年度は委嘱の日からその年度末までとする。なお、再任は妨げない。

- 2 評価委員に欠員が生じたときは、補充することができる。
- 3 評価委員は、特別の事情があるときは、その任期の途中で評価委員の委嘱を解くことができる。

(委嘱)

第5条 教育委員会は、委嘱状を交付する。

(教育委員会事務事業評価委員会)

第6条 教育長は、評価委員が意見交換するための教育委員会事務事業評価委員会（以下「委員会」という。）を設けることができる。

- 2 委員会は、教育長が招集する。
- 3 委員会は、関係職員等の出席を求めることができる。

(守秘義務)

第7条 評価委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(その他)

第8条 この要綱に定めるものの他、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年7月10日から施行する。